

九州地区大学図書館協議会誌

第 61 号

2018

九州地区大学図書館協議会

目 次

【巻 頭 言】	
図書館におけるユニバーサルデザインとしての空間 田井村 明 博 . . . 1	
【寄 稿 論 文】	
大型長崎古地図について 宮 脇 英 俊 . . . 3	
【図 書 館 紹 介】	
大分県立芸術文化短期大学附属図書館 8	
九州大学附属図書館中央図書館 11	
【加盟館ニュース】 14	
【図書館活動報告】 31	
【事務局報告】 40	
【協議会総会記録】 42	
【資 料】	
九州地区大学図書館協議会会則 53	
九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則 54	
九州地区大学図書館協議会入会に関する細則 55	
九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規 59	
九州地区大学図書館協議会表彰規程 59	
研修会の補助に関する申合せ 64	
副幹事館の役割 66	
九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について 66	
加盟館一覧 68	
役員館一覧 72	
総会当番館一覧 76	

【図書館におけるユニバーサルデザインとしての空間】

長崎大学附属図書館長
田井村 明博

平成 30 年 10 月 1 日に九州大学中央図書館のグランドオープンに参列させて頂いた。3 階にある図書館エントランスまでエスカレーターで上がり、オープニングセレモニー開始を待つ間に屋上階に上がり、イースト 1 号館、ビッグスカイ（食堂）など見学した。屋上からは広大な伊都キャンパスのほぼ全体が見渡せた。

いよいよ、3 階図書館エントランスにてオープニングセレモニーのカウントダウンが始まり、開館を待ち構えていた多くの学生の皆さんとともに館内へ入場した。何よりも最初に目に飛び込んできたのは、4 階まで吹抜けの大空間と壁面書架（ブックウォール）である（写真 1）。



写真 1. 九州大学中央図書館（筆者撮影）

昨年、9 月に旅行で訪れたオーストラリアのメルボルンにあるビクトリア州立図書館（写真 2）でも同じように空間の大きさに感動した事を思い出した。国内でも何とか話題になった秋田国際教養大学図書館や

武雄市図書館も天井が高く、大きな空間を備えているようである。



写真 2. ビクトリア州立図書館（筆者撮影）

空間の大きさに驚くと共に、この空間の空調制御に関わるエネルギーコストについて心配をしてしまった。私の専門領域である環境生理学の観点から、この吹抜け空間の温度は下部と上部では異なり、この温度差は図書館利用者にとっては形もなく見ることは出来ないが、肌で感じることでできるユニバーサルデザインでエネルギーコストはあまり問題ではないと考えられる。一般的な室内においても、床に近い部分の温度が低く天井に近いほど高くなるので、部屋の温度を可能な限り均一に保てるようにシーリングファンなどを利用して、温度を一定に保とうとする。この図書館の大きな空間はまさにその温度差を生み出し、寒さに敏感な人が「弱冷車両」を選択して乗車するのと同じように、図書館利用者の温度志向にあった階のスペースの利用が可能に

なると思った。確かに、4 階までの吹き抜け、さらに保管書庫との間には壁がなく連続していることから空調管理には多大な経費を必要とするが、利用者の快適性、身体への影響、保管図書の保守管理面を考えると必要不可欠なエネルギー(経費)である。

そして各階の大きなスペースは、自然光が差し込む窓側の席、ゆったりと座れるソファ、形状の異なるテーブルと椅子、開架図書にアクセスし易い場所に配置された机など、利用者の多様な好みに対応できる素晴らしいスペースとなっている。この素晴らしい空間から創造される知は、まさに、大学が果たすべき人材育成に大きく貢献すると考える。

現在、大学図書館が直面している電子ジャーナル経費に関わる問題をはじめ、大学では様々な建物や設備等のインフラ整

備・保守等に関して、多様な分野が集結した総合大学ならではの叡智とメリットを生かせず、予算的な理由が最優先されているように思われる。そのような状況の中で、多くの大学での図書館整備は建物改修によって行われていると思うが、九州大学中央図書館の素晴らしい空間は移転によって新設されたことで教育・研究の中心となる多様な学生さんの利用形態に即した大学図書館が実現したと考えられる。

大学図書館関係者の皆様には、既存の建物・設備を最大限に生かし、例えばより利用しやすいレイアウト変更等によるハード的側面の整備のみならず、サービスを提供する側の心のやさしさや思いやりの伝わるソフト面の整備も含めた個性ある新たな図書館を目指してご尽力されることを期待したい。

【大型長崎古地図について】

宮脇 英俊

はじめに

江戸時代の長崎の街の様子が描かれた古地図が長崎大学附属図書館経済学部分館にひっそりと眠っていた。本稿は、その古地図にまつわる調査報告である。

1. 発見時の様子

長崎大学附属図書館経済学部分館書庫3層にある大型本の棚に、紙の資料ではあるが、図書とは別の形態をした資料があることに気がついた。一見して、図書館の所蔵資料を示す印やラベル類は見つけられない。50センチ四方の大きさを幾重にも折りたたまれている。

縦方向に広げると340cmの長さとなり、約30cm間隔で山折・谷折りで折りたたまれているものを広げていくと、出島や新地蔵、唐人屋敷などが描かれた長崎の街の地図だった。青や黄色などで着色されている。各戸の土地が区割りされており、そこには、“八拾五間二尺六寸”などの長さが書かれていた。その区画には、“壺ヶ所”あるいは“式ヶ所”と書かれている。公的な建物がある場所には、“西役所御屋敷”や“俵物役所”などの名称が書かれている。道路には“本石灰町長サ六拾四間二尺”などとある。精巧に描かれていることに驚かされる。長崎八十町と呼ばれていた頃の江戸時代の長崎の街全体が描かれていた。古地図の大きさは、約340cm×約450cmで、畳10畳ぐらいになる巨大な古地図であった。



2. 専門家検証

長崎史談会会長（元長崎市立博物館長）の原田博二氏に検証してもらった。

“壺ヶ所”という文字を見て、これは分配金を配る際の単位を表すものだということを教えてもらった。長崎歴史文化博物館に「長崎惣町絵図」というものが所蔵されて、それとよく似ている。描かれている年代は、銅座橋が石橋になったのは嘉永4年（1851）で、この図には石橋として描かれていること、出島の水門付近が築増されたのが安政6年（1859）であるが、まだ描かれていないので、その間となる嘉永4年（1851）から安政6年（1859）の間の、長崎の街である事がわかる。溝が色付けでわかりやすく描かれている。これはこの溝によりこの当時は町の境界線を示しているため、町の区分けが非常にわかりやすく表現され

ているということだった。



3. 長崎惣町絵図

長崎歴史文化博物館の「長崎惣町絵図」は、「復元！江戸時代の長崎」布袋厚著に詳しく書かれているので参照ください。長さが四・五二メートル、幅が三・六〇メートルとあり、ほぼ同じサイズといえる。長崎大学版古地図とよく似ている。書かれている文字、描画線の感じ、長さの表記が同じである。

長崎惣町絵図は、明和年間に作成が開始されたものらしいので、原田氏の年代鑑定から判断すると、長崎惣町絵図を写したものではないかと思われる。

では、これらの地図に書かれている各区画にある“老箇所”や“長さ”に関する分配金とは、一体どういったものかということ、布袋本によれば、「箇所銀・竈銀」を支給するための基礎資料であるという。

4. 箇所銀・竈銀

箇所銀・竈銀とはなにか。

江戸時代、長崎の街は貿易で豊かな財政状況に

あった。その剰余金を地下配分銀といい、7万両ほどあったらしい。その配分銀の内、「箇所銀」と「竈銀」という名目で、長崎の街の人たちに、7月と12月の年2回、お金を分配したそうである。

箇所銀は、土地持ちの人、竈銀は借家人に、土地の面積に応じて配られた。約60坪を1箇所として、時代により変動はあるが、おおよそ1箇所あたり箇所銀130匁（年18万円ぐらい）、竈銀30匁（年5万円ぐらい）であった。

ただし、箇所銀には、「貫銀」と言って、自治会費のような費用を控除する仕組みがあつて、手取りは少なくなっていたそうだ。反面、竈銀に貫銀はなかったようである。

何故、お金を配ったのかということ、関わり合いの度合いの大小はあれど、長崎の人たちは、何らかのことで貿易の仕事に関与していた、という理由から、長崎独自の制度として生まれたのだった。その配分する際の基準面積を記した地図が「長崎惣町絵図」となる。

長崎の市勢要覧とも言うべき「長崎市中明細帳」があるのだが、この付帯資料として長崎惣町絵図が作られたようである。市中明細帳にはいくつかの違う年代のものが、長崎歴史文化博物館や九州大学などに10数点ほどが所蔵されている。本学にも、経済学部分館の武藤文庫に、文政年代の長崎市中明細帳がある。

5. 古地図の紙について

古文書の修復を数多く手がけている業者に紙について鑑定してもらった。

紙は楮和紙で、かなり上等の部類に入る。細かい楮の繊維に多くの澱粉を加えて漉き、表面に強い礬砂処理したと思われる。紙の状態から推察すると、幕末時期の和紙で間違いのないとの評価だった。

6. 本学地図の来歴

古地図に、長崎高等商業学校（長崎大学経済学部の前身）の蔵書印が押ししてある。図書原簿によれば昭和3年に岡部大次郎氏寄贈という。寄贈者の「岡部大次郎」氏とはいかなる人物なのか、も

しかすると高商の卒業生かもしれないと思い、高商時代の卒業アルバムを順次めくっていると、大正2年高商卒業の人物がでてきた。さらに、同窓会誌には、岡政百貨店勤務で昭和17年に亡くなられた訃報記事があった。ご本人の住所が長崎市東浜町として卒業アルバムに記されていたこと、東浜町は岡政のあった場所であること、岡部家は岡政創業家になることから、創業家家系の一人ではないかと思われる。

岡政創業の歴史は、安政元年に、徳島徳太郎（後岡部と改称）が起こした貿易商が始まりである。その長男・政太郎が家督を継ぎ、岡政呉服店を開業した。政太郎の本妻マスとの間には、子供はなく、養妹の恵以がいて、その夫が大次郎であった。政太郎は、大次郎の義父となる。岡政百貨店となるのは、政太郎の庶子・ツネの夫で婿養子となる實（伊藤喜七の三男）が、岡部呉服店（政太郎のいとこの忠太郎店主）と岡政呉服店を合併して、昭和9年に岡政百貨店が開店する。

どのような経緯で、この大型古地図が、岡部家に伝わったのかはわからないが、高商へは、岡政の岡部家から寄贈されたものである。当時の高商には、武藤長蔵先生も在職中の時期であるので、長崎学にも造詣の深い武藤先生のいる、母校の高商を寄贈先に選んだのではないかと推察するのである。

7. 長崎惣町絵図と比較

長崎惣町絵図を所蔵する長崎歴史文化博物館の研究者と意見交換をした。長崎大学版古地図の部分画像を持参し、長崎惣町絵図の出島部分、思案橋部分、浜町部分、奉行所部分について比較してみた。

長崎の街全体の輪郭、一区画ごとの線の位置、文字の書かれている位置、橋の位置、井戸の位置など一致する。出島の描画サイズを比べてみたら、ぴったり同じ長さで描かれてもいた。相違点は、長崎惣町絵図は区画の線上に長さを示す文字が書かれているが、長崎大学版古地図は、区画線の横に文字が書かれている。文字が判読しやすいよう

に意識してずらして書いていると思える。また、井戸については、長崎惣町絵図は四角の黒塗りだが、長崎大学版古地図は四角の白抜きである。

長崎惣町絵図は、明和年間に作成開始されて、町並みの変化に応じて、色を塗り直したり、紙片を貼って修正したりするなどして、時代の変化とともに変更する地図である。かたや長崎大学版古地図は塗り直したり紙を貼り付けたりしているわけではなく、その一時代のその時の町の状態が描かれている。原田氏が言われていた年代の特定ができるというのがそれで、写した時期ということになる。

歴文研究者の総評をまとめると、「長崎惣町絵図の写しが存在するとは認識していなかった。このような大型の資料を写すには、並大抵の作業ではなく、何らかの目的があって、作成したことは間違いないだろう。それに岡部家からの寄贈であるとか、高商所蔵となれば貴重な資料であることに違いはない。長崎惣町絵図と比較検証することができる研究材料として面白いものだ」との見解であった。

8. 箇所割大地図

長崎大学名誉教授の故外山幹夫先生の御著書「わが町の歴史長崎」に、箇所銀の配分を求める際の基礎資料となる地図があったと次のように書かれている。『各町の戸数を調査し、その敷地を測量して町の総面積と各町面積、個人住宅地の坪数を調査し「箇所」を設定した。そして長崎の海辺や川のほとりに土砂が堆積してきた空地（踏出し地）や河岸に作られた小屋にいたるまで厳密に調べ、精細な「箇所割大地図」をつくって長崎奉行所・長崎代官所・長崎会所にそなえつけたのである』

つまり、3枚の大地図があったということになる。その大地図の1枚が「長崎惣町絵図」で長崎歴史文化博物館が所蔵しているものだろう。となれば、この”箇所割大地図”が、他にあと2点存在していたことになる。あと残りの2点はどこにあるのか。本学の古地図がその内の1点なのかもしれない。今後の研究により確証が得られること

を待つことにしたい。

巨大な古地図は、箇所銀・竈銀を配分するための基礎資料であったと先述した。江戸時代も例外なく、行政上必要となる事項を把握する必要があることは当然のことと思える。そういう際に必要となる文書が、市中明細帳であり、長崎惣町絵図であったのだと思う。当初は1箇所1部あれば事足りたのかもしれない。しかし、行政事務を取り扱う上では、1箇所しかないとなると、不都合な面や不便な部分が出てきて、写しが必要となる場合もでて来たのではないかと考えられる。箇所割大地図が3箇所にあったということを起点に考えるならば、行政上必要に迫られて、長崎惣町絵図を原本にして写し描きし、奉行所、代官所、長崎会所に備え付けたのだろうと推測ができる。

9. 長大版古地図と長崎惣町絵図との相違点

長崎大学版古地図と長崎惣町絵図に、決定的な違いがあるところがある。長崎惣町絵図には、立山役所の隣にあった長崎会所の敷地を横断するように道が修正されて描かれている部分がある。色が濃くなっているのでよく目立つ。現代でも現存し利用されている道でもある。その部分を長崎大学版古地図でみると、その道路は描かれていないのである。当館武藤文庫にある明治初年と記された古地図を見ると長崎会所を横断する道はなく、会所の敷地を遠回りする形で道があり、岩原川に掛かる橋を渡る道が描かれている。寛政8年の長崎図や享保2年の肥前長崎図にも同様に描かれている。さらに嘉永7年から安政3年の間に描かれた「長崎諸御役場絵図」にも同様である。また、長崎惣町絵図には、所敷を遠回りする道から東上町通りに接続する岩原川沿いの道がない。東上町通りは直線的な現在でもある道であるので、明治になって惣町絵図が修正されたのかと不思議に思っていたが、長崎会所の土地について調べてみたら、長崎会所は業務量の増大にしたがって、土地の拡張を繰り返していたことがわかった。長崎市史名所旧跡部(昭和12年発行)682頁によれば、「天明六年 建物朽腐して危険を感ずるので全部

之を改築し且つその南北に於ける敷地を拡張し或いは模様替えを行った。即ち南に於いては東中町地内より百式十六坪を買取して当所敷地とし表門を此所に開いた。又北に於ては従来旧弘方会所 俗に向会所と云うべりと路を隔てて相對せしものを合併し仍て道路を当所の北方堀外に延長迂回せしむることとなった。従来東上町通は直線に立山屋敷に到って居た 現在の如しものを此度の会所拡張により同町街道は立山川に至りて北し更に会所北塀を東することとなった。この工事は天明五年八月廿五日新始め翌年六月八日に至りて成就した。」とある。長崎惣町絵図ではこの拡張工事の状況が反映されていない部分が多くあるが、長大版古地図では概ね反映されている。長崎惣町絵図を原図としたのではなく、もう一つの箇所割大地図を写した可能性もでてきた。いずれにしても、ふたつの地図は詳細に描かれている特徴があるが、長崎会所の部分に関してはおざりな印象は拭えない。箇所銀配分の算定に無関係な部分であるからなのだろうかとかさ思えてくる。ちなみに、長崎会所については、長崎高等商業学校の馬場誠教授の「長崎会所の研究」に建屋配置図を使って検証した論文があるので是非参照されたい。

10. おわりに

今回見つかった大型古地図について、調査により興味深いことがいろいろ判明してきた。発見当初には現物に備品番号が記載されていないこと、分類番号の所定の位置に置かれていなかったこと、日本経済史が専門の名誉教授も、この地図の存在をご存じなかったことから、長らく行方不明の状態でも半世紀以上ひと目に触れることなく図書館で眠っていたことになる。また、「長崎市全図」というなんの変哲もない名称だったことも目の目をみることはなかったのだろうと思う。この度、半世紀以上ぶりに再確認することになったこの大型古地図について、今後も検証を重ねて行くとともに、多くの学生や、地域の皆様の利用に供することのできるような、保存と修復と利活用の方法を検討していきたいと考えるものである。

参考文献

- ・昭和十七十八年用会員名簿，瓊林会，1943
- ・第6回長崎高等商業学校卒業アルバム，長崎高等商業学校，1913
- ・瓊林（80），1942，p50
- ・まちなかガイドブック I（新大工・中通り・浜ん町編），長崎史談会・長崎市観光政策家，2014
- ・人事興信録第十版，人事興信所，1934
- ・長崎県大観，中川観秀，長崎新聞社，1915
- ・わが町の歴史長崎，加藤章 外山幹夫，文一総合出版，1984
- ・増補長崎の歴史，松浦直治，長崎の歴史刊行会，1974
- ・復元！江戸時代の長崎，布袋厚，長崎文献社，2009
- ・貿易都市長崎の研究，本馬貞夫，九州大学出版会，2009
- ・市中明細帳，武藤文庫，
<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/siryo-search/ecolle/muto/eturan/sityuu.html> (2017.8.4)
- ・長崎諸御役場絵図，国立国会図書館デジタルコレクション，
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9369216> (2017.8.4)
- ・新長崎市史第二卷近世編，長崎市，2012
- ・「株式会社」長崎出島，赤瀬浩，講談社，2005
- ・長崎略史（長崎叢書下巻），[金井俊行編纂]，長崎市役所，1926
- ・長崎市中明細帳，山口保彦，長崎学（1），91-105，2017
- ・【KTN】長崎ぶっくジャーナル #002 復元！江戸時代の長崎，
<https://www.youtube.com/watch?v=vk0uA981ve0> (2017.8.4)
- ・図説 長崎歴史散歩，原田博二，河出書房新社，1999
- ・長崎市史名所旧跡部，長崎市役所，1937
- ・長崎会所の研究，馬場誠，社会経済史学 9（11/12），83-88，1940

図書館紹介

【大分県立芸術文化短期大学附属図書館】

はじめに

当学図書館は、1961年（昭和36年）4月、県立芸術短期大学キャンパス誕生とともに「附属図書館」として創設されました。

1975年（昭和50年）4月、別府市から大分市へのキャンパスの移転に伴い図書館も移転し、1976年（昭和51年）11月に新築開館しました。

以後40年以上が経過し大学施設が老朽化したため、2015年度（平成27年度）よりキャンパス整備事業に着手しました。それに合わせて、附属図書館も新館を建設することとなり、2017年（平成29年）に工事を開始し、翌2018年（平成30年）7月末に完成。9月25日にオープンしました。

大学全体の施設整備の完成は2020年度を予定しています。

施設概要

工期 平成29年8月～30年7月

構造 RC＋一部木造及び鉄骨造 平屋

延床面積 1,036 m²

地域材使用量 約77 m³

施設の特徴として、県産杉材をふんだんに使用した雲状木屋根・天井となっておりガラス面を多く用いた趣のある空間となっています。

また、これまで2階、3ブロックに分かれていた開架書架がワンフロアとなり、障害者用の昇降機を設置するなどバリアフリー化が進み、誰もがより利用しやすい施設となりました。

図書館外観



館内図



事務コーナー

4名（うち司書3名）のスタッフで、各種図書館サービスの提供を行っています。



AV視聴コーナー

館内にあるDVDやBlu-rayなどの視聴覚資料をここで視聴できます。



CD・楽譜コーナー

オペラやクラシック、邦楽、洋楽など多様なジャンルのCDなどを置いています。

また、楽譜は約1万冊を保有しています。



開架書架

全蔵書数約10万冊のうち、約7万冊を開架書架に配備しています。そのうち約2万冊が芸術系の図書となっています。



閲覧コーナー

落ち着いた雰囲気の中かで、読書等に集中できるように、全57席の閲覧席を設置しています。



カウンター式閲覧コーナー



グループ学習室

ゼミでの学習や、多人数での館内視聴覚資料の鑑賞等の用途で利用しています。



ラーニング・コモンズ

学生が図書館資料を活用するなどにより自由に学習できるスペースとして、全25席を設置しています。



終わりに

新図書館オープン後、2か月が経過しましたが、入館者数は旧図書館時の2倍に達し、特にAV視聴コーナーの利用者数はこれまでの約5倍となっています。

今後とも引き続き、学生や教職員及び地域の皆さま方がより利用しやすい施設となるよう図書館職員一同鋭意努力していきます。

【九州大学附属図書館中央図書館】

はじめに

九州大学の新しい中央図書館が2018年10月に開館しました。2011年に百周年を迎えた本学の「次の百年」を担う図書館として、学内の学習・教育・研究活動を支えるとともに、社会に開かれた知の拠点として機能します。

約2万㎡の広大な空間には、利用目的に合わせたゾーニングに沿って充実した設備が整えられ、本学が長年にわたり蓄積してきた人文社会科学系の資料が集中化されました。

集約された資料は、できるだけ多くを直接手に触れることのできる開架書架に配架しており、自動書庫とあわせて収蔵可能冊数350万冊を実現しました。

施設概要

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て
(一部鉄骨造)

面積：19,279㎡(図書館部分)

収蔵可能冊数：約350万冊
(うち自動書庫約150万冊)

座席数：約1,400席

図書館外観

九州大学のシンボルロゴを建築デザインに取り入れ、隣接する椎木講堂との調和を図っています。また、各所にガラス張りのスペースを設けており、利用者に周囲の眺望を提供します。



館内案内

【吹き抜け】

4層吹き抜けの大空間を、利用者の共有する空間として設計しており、「見る・見られる」関係をつくりだしています。また、4階のアクティブ・ラーニング・スペースを動の空間と位置づけ、階をくだるごとに静謐な空間となるようにゾーニングしています。



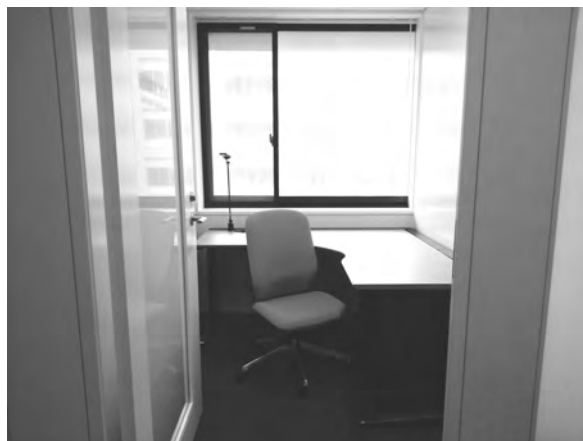
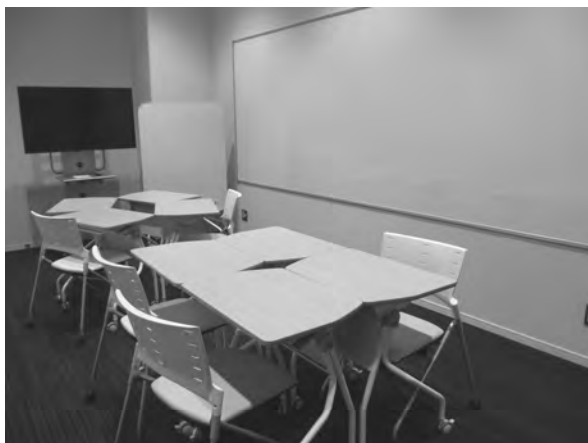
【きゅうとコモンズ】

アクティブ・ラーニング・スペース「きゅうとコモンズ」は、会話をしながら学習できる空間です。1,000㎡という広大なスペースでは、学習スタイルに応じたフレキシブルな設備が知の交流をうながし、学生の主体的な学びを創出します。また、講習会やイベント等にも利用ができ、図書館で最も活発な空間です。



【グループ学習室】

グループ学習室は、2～8名のグループで貸し切ることのできる部屋で、ディスプレイや壁面ホワイトボードなどを備えています。1室の定員は8名となっていますが、2室をつなげることもできるため、最大16名での貸し切りが可能です。



【貴重書庫】

貴重書庫は、外界から遮断された構造となっており、室内は資料の保存に適切な温度・湿度に保たれています。



【演習室】

演習室は、図書館に所蔵する資料を活用した授業や、グループでの資料調査のために、長期にわたって予約・利用することができる部屋です。



【自動書庫】

収蔵能力150万冊の自動書庫は、資料保存に最適な環境を保つため、書庫内の温湿度が監視されています。出庫リクエストを受けてから2～5分で資料がカウンターに到着します。



【研究個室】

研究個室は、学習・研究のために個人で貸し切ることのできる部屋です。11ある研究個室はすべて形が異なり、その形にあわせて多様な什器が採用されているため、利用者の学習形態にあわせて部屋を選択することができます。

【カフェ・ラウンジ】

エントランス付近に、食事のできるカフェ・ラウンジを備え、滞在型図書館としてリフレッシュしながら学習・研究に取り組めるよう、長時間の滞在に適した快適な環境を提供します。



終わりに

移転の完了した伊都キャンパスにおける知の拠点として、「知の世界へ、知の深みへいざなう」「知と人を、人と人を、過去と未来をつなぐ」「学生と、研究者と、市民とともに知をうみだす」「新たな知を、ゆたかな人をはぐくむ」図書館を目指し、利用者の多様なニーズに応える環境とサービスを提供します。

【大分大学】

企画展示

且野原図書館では月替わりで様々な企画展示を行っている。7月の企画展示では「原作本」をテーマに、2018年公開予定の作品を含む、映像化された小説やエッセイを85冊展示した。夏季休暇前ということもあって多くの学生が興味を示し、半数以上の本が借りられた。

- ・入学おめでとう～新生活お手伝いします 2018～
- 5月：古地図の魅力～伊能忠敬没後 200年～
- 6月：100 ～hyaku～
- 7・8月：原作本
- 9月：AI～人工知能は猫の夢を見るか？～
- 10月：リーダーたちから学ぶ
- 11月：明治 150年

上記に加え、ミニ企画展示や絵本の展示も定期的に行い、時事に合わせて様々な本をピックアップしている。



企画展示「原作本」



ミニ企画展示の様子

ライティング・サポート・デスク

前期は7月2日（月）～8月8日（水）に実施した。稼働率は74%で、昨年度の同時期と比べて26ポイント増加した。相談内容は論文・レポートの書き方だけでなく、進路や就活、留学についての相談、プレゼンテーションの仕方など様々であった。継続して行っている宣伝の効果もあり、名度は徐々に高まっている。ライティング・サポート・デスクでの相談をきっかけに、チューターを含めた就活対策の自主学習グループを起ち上げた学生もおり、面接練習や情報交換を行なった結果、グループのほぼ全員が内定をもらったという報告を聞くことができた。引き続き1・2年生を中心にサポートを充実させるため、後期も実施を予定している。

Sを目指すレポートの書き方講習会

7月上旬に①情報検索編と②出典と引用編を各2回行った。留学生を含む49名が参加し、図書館にある情報源の活用方法や、適切な引用の仕方などが説明されると、熱心に聞き入っていた。講習会後のアンケートでは、「想像以上に自分で得られる情報・アクセスできる情報が多く、今後有効に利用していきたいと思った」「1年生でレポートを書いたことがなく、不安なことも多かったのですが、とても勉強になった」といった好意的な反応が見られ、学生にとって有意義な講習会となった。

学生協働の取り組み

昨年度に引き続き、学生3名（以下「企画メンバー」）と、B CAFE（読書会）イベントを企画・運営・実施した。今年度第1回目のテーマは、「旅に出よう！」とし、5月23日（水）に開催した。当日の飛び入り参加者も含め10名が参加し、本の紹介者への質問や意見交換が活発になされた。12月にも開催を予定している。



読書会の様子

大学開放イベント

11月4日(日)の大学開放イベントで旦野原図書館では以下4つのイベントを行った。

- (1)多読で外国語を学ぶ！外国のえほん・manga を紹介
- (2)KENBUN を使おう！大分の歴史的地域新聞ラッピングサービス
- (3)一般・娯楽雑誌の無償配布
- (4)明治150年：明治時代へタイムスリップ！

当日、図書館の入口に無償配布の雑誌と明治150年関連の顔出しパネルを設置した。大勢の来場者が通りすがりに足を止めてお目当ての雑誌を探したり、パネル撮影を楽しんでいた。館内ではレンガ壁やガス灯といった明治時代の雰囲気を味わえるアイテムと共に、明治時代のベストセラーや当時のファッションなどに関する資料を展示した。また福澤諭吉の「学問のすすめ」や「西洋事情」をはじめ、通常は貴重資料として書庫で保管している古書をケース展示した。

「多読で外国語を学ぶ！」のイベントでは英語の絵本読み聞かせが3回に分けて行われ、計52名の参加があった。特に親子連れの参加者が多く、読み手の問いかけに子どもたちが元気に答えながらストーリーが進み、終始楽しそうな雰囲気であった。同コーナーには英語の多読本やジブリアニメ本の外国語版等が展示され、読み聞かせ後にそのまま手に取り読み始める親子もいた。小学校の英語必修化に伴い、英語教育への関心が高まっている様子が窺えた。

大分大学と大分県立図書館が共同開発した「KENBUN」を使った歴史的新聞ラッピングサービスには大人46名、子ども39名の計85名と大勢の参加があった。参加者は昔の新聞記事や広告を見て、今との違いに驚いたり、興味深そうに記事を読み、プレゼント用に丁寧にデコレーションをしたりと楽しく作業をしていた。初めて図書館に来館したという方も多く、「こんなサービスがあるとは知らなかった。とても面白い」「近所なのでまた頻繁に利用したい」という声もあった。各イベントとも終日賑わいをみせ、幅広い年齢層の方々に図書館に親しみを持っていただくきっかけとなった。



大学開放イベントの様子

学生選書ツアー

11月14日に市内の大型書店にて学生選書ツアーを実施した。参加者は17名のうち6名が留学生で、数か国語が飛び交う、にぎやかな選書ツアーとなった。参加者は本の内容や予算との兼ね合い等あれこれ悩みながら選書していた。終了後のアンケートでは「実際に本を見ながら選べて楽しかった」「POP作りが楽しみ」等、非常に好意的な反応が見られた。選書した図書は手作りのPOPとともに展示する予定である。



学生選書ツアーの様子

【鹿児島大学】

中央図書館ラーニングcommonsオープン

10月15日(月)に中央図書館1階にラーニングcommonsがオープンした。教員・学生・図書館職員のワーキングを通じ、豊かな海と離島をイメージした鹿児島大学らしいクリエイティブ空間の創出をコンセプトに検討を行い、ワーキングの柴田晃宏准教授(建築学)および研究室の学生がテーブルや畳ベンチ等の設計を手がけた。パーティションフィルムのデザインはコンペ「ラーコモデザイン総選挙」で最多得票を獲得した学生の様々な魚を一面に配したデザインを採用し、またタイルカーペットも学生の海をイメージしたデザインを採用した。

電子黒板やプロジェクター、透明ホワイトボード等を備え、院生や特任助手の学修相談も試行的に始まり、知を創出する空間として、今後学生への多様な利用支援を展開していきたい。



【鹿屋体育大学附属図書館】

1. 企画展示

新入生向けに大学での勉強法、レポートの書き方などを紹介した「新入生におすすめの本」、「本屋大賞」、「大学生へのおすすめの本」等、関連図書を購入、展示するなど季節や学内行事等に沿った企画展示を行った。



2. 図書館サービス向上のためのアンケート

平成30年10月に利用者アンケートを学内のe-learningプラットフォームであるWebClassを利用して実施した。学生用PC、閲覧席にアンケートへの協力依頼シールを張るなどして呼び掛けた。紙媒体での実施と比較し、配布作業、集計作業などが効率的になったが、回答回収率の向上に

つながらなかったなど実施上の検討課題も残った。

分析結果は、利用者サービス面での改善に反映させる予定である。

3. NIFS GALLERYの改善

アクティブ・ラーニング等や学内における学生の主体的な学修・協働学習を支援する環境の整備として、NIFS GALLERY改装を実施した。組み合わせが自由なテーブル、ハイカウンターテーブルなどを配置している。



4. 館内模様替え

(1) 図書館カウンター周辺の用環境改善の一環としてタイルカーペット張り替えを行った。

(2) 季節、催事（七夕飾り、ハロウween等）にあわせ受付カウンター周りなどの飾りつけ



を行い、親しみやすく、入りやすい雰囲気作りを行った。

5. 図書館情報システム更新

平成 30 年 2 月より図書館情報システム(クラウド上でセキュリティにも配慮した SaaS 型)を更新した。また、鹿屋体育大学学術情報リポジトリも国立情報学研究所提供の JAIRO Cloud (共用リポジトリサービス) へ移行した。

【沖縄科学技術大学院大学】

第 1 期生卒業と機関リポジトリの公開

沖縄科学技術大学院大学 (OIST) は 5 年一貫制の博士課程を置く大学院大学で、2012 年 9 月より学生の受け入れを開始し、今年 2 月にその第一期生 14 名の卒業式を行いました。



第一回卒業式 2018 年 2 月 24 日 (本学講堂)



式典後の卒業生達 (講堂の外)

同時期に本学では機関リポジトリを公開し、学生の 5 年間の研究成果である博士論文をネット上で閲覧できるようになりました。この機会に本学の機関リポジトリ “OISTIR” やその運用方法について、ご紹介させていただきます。

機関リポジトリワーキンググループ

本学では 2015 年 5 月に機関リポジトリのワーキンググループを立ち上げました。構成員は図書館職員に加え、教員、IT マネージャー、大学院研究科マネージャー等の組織を横断する 7 名で開始しました。2017 年 5 月までの 2 年間に 11 回の会議を行い、機関リポジトリ構築に係る様々な課題について議論を深めました。機関リポジトリのプラットフォームについては、Jairo Cloud を使用することを初期段階で決定したので、議論の中心は、オープンアクセス方針の内容、コンテンツ収集方針、登録に至るまでのワークフローでした。ワーキンググループの議論を元に図書館の内部で最終的に細かい方針等を仕上げ、学内の弁護士に内容を確認してもらい、完成したのが「機関リポジトリ運用指針」、「機関リポジトリ登録ライセンス」です。これらは本学の機関リポジトリのホームページより入手することができます。

機関リポジトリ運用指針

機関リポジトリ運用指針は日英で書かれ、内容は以下の12項目を定義しています。

1. 成果物の登録	7. 利用条件
2. 登録者	8. 免責事項
3. 責任	9. 事務組織
4. 手順	10. その他
5. 登録と著作権	11. 様式
6. 削除又は非公開化	12. 用語集

この中で「3. 責任」という項目は通常、他の国内大学の運用指針には見かけないものですが、本学では重視した項目です。これは機関リポジトリの運用について全学的な取り組みが必要との認識から、著者、登録者、教員、学長、研究科長、広報担当副学長、教員担当学監、インフォメーションセクションリーダー、図書館長の各々の責任について定義しています。実際の業務は主に図書館職員が行いますが、機関リポジトリは全学で取り組み、発展させていくものであるという意識を高め、著者に対しても登録する際に必要に応じて共著者へ連絡をする等の義務が生じることを明らかにし、登録手順に係る支援体制の確立に役立っています。

機関リポジトリ登録ライセンス

登録ライセンスは国内の大学では例のないユニークな取り組みです。これは機関リポジトリに学内成果物を登録する時に学内著者と大学側が交わす正式な契約書で、著者が本学在籍中に1度だけ交わされます。著者1名につき2部作製され、署名後1部は著者、もう1部は図書館が保管します。内容としては著者が本学在籍中に出版する学術論文について機関リポジトリへの登録に同意する（署名日以降に出版される学術論文も含む）ことが明記されています。これにより、各論文ごとに本学著者の登録同意の意思確認を行う手間が省けることから登録時の作業効率が高まります。それ以外でも「本学に付与される権利」、「登録者の表明保証」、「登録された成果物の取り下げ」、「図

書館による著作権取扱規定の確認」、「免責事項」等が定義されています。

OISTIR の登録状況

本学の機関リポジトリはOISTと機関リポジトリ(IR)を合わせて、OISTIR(オイスター)と呼んでいます。



OISTIR サイト (<https://oist.repo.nii.ac.jp>)

本学はオープンアクセス方針を2017年8月に策定した後にOISTIRの登録を開始したので、全てのコンテンツはオープンアクセス方針(2017年1月1日以降に出版された成果物に係る)に基づいたものになっています。さらに本学は教員と学生の半数以上を外国人としており、授業と研究は全て英語で行っているため、必然的に登録するコンテンツの言語も英語が中心になります。OISTIRのコンテンツの内訳は以下のとおりです。

コンテンツタイプ	アイテム数	割合
学術雑誌論文	221	90.2%
学位論文	18	7.3%
会議発表論文	6	2.4%

(2018年11月末現在)

本学は紀要を発行していないため、登録コンテンツは学術雑誌論文が中心となっています。本文ありのレコードの割合は92.8%と多いことも本学の特徴で、可能な限り出版社版又は著者最終稿を登録するようにしています。

OISTIRは、当初の機関リポジトリ構築の目的である「本学の研究成果のオープンアクセスを推進することにより、研究の科学的な効果を最大限に活用し、本学の研究のプロフィールを高める」有効な方法と考えています。運用から7か月しか経っておりませんので、登録数としては数が少ないですが、今後もOISTIRの学内での周知を高め、質の高いコンテンツを増やしていく予定です。

研究担当ディーンオフィスと共催のセミナーのポスター 2017年7月25日



【九州大学附属図書館】

箱崎キャンパス中央図書館閉館式を開催

平成30(2018)年7月31日(火)、箱崎キャンパスの中央図書館において同館の閉館式が執り行われた。

附属図書館は大正11(1922)年に馬出地区に設置され、箱崎地区においては大正14(1925)年に附属図書館本館として開館した。さらに昭和48(1973)年より、現在の場所で中央図書館として多くの学生、教職員に利用されたが、伊都キャンパスへの移転に伴い、7月31日をもって閉館の運びとなった。

17時より開始した閉館式では、現役の学生教職員はもとより、縁のある卒業生やOBがエントラン

スホールを埋め尽くし、歴代館長・事務部長等による挨拶、参加者全員での一本締めの後、記念撮影が行われた。閉館式終了後も、21時の閉館まで館内の壁に思い出のメッセージを書き遺すなど名残を惜しむ人で賑っていた。



閉館式で挨拶をする宮本一夫附属図書館長



壁面に記された利用者からのメッセージ



閉館式参加者による記念撮影

伊都キャンパス中央図書館グランドオープン

平成30(2018)年10月1日(月)、本学の新しい中央図書館が伊都キャンパスセンターゾーンに開館した。2011年に百周年を迎えた本学の「次の百年」を担う図書館として、学内の学習・教育・研究活動を支えるとともに、社会に開かれた知の拠点として機能する。350万冊収納可能であり、国立大学図書館の中でも最大規模の図書館となる。開館当日にはエントランスホールでの開館カウントダウンの後、きゅうと commons にてグランドオープン・セレモニーが開催された。久保千春総長の挨拶の後、文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付学術基盤整備室長の丸山修一様、国立大学図書館協会副会長・京都大学附属図書館長の引原隆士様からご祝辞を頂戴した。宮本一夫図書館長の謝辞でセレモニーを締めくくった後、人間環境学研究院の堀賀貴教授による、中央図書館の施設紹介が行われた。



開館記念式典(9/29)でのテープカット



グランドオープン・セレモニーの様子



コールアカデミーによるミニコンサート

さらに当日は、コールアカデミー、九大フィルハーモニー・オーケストラ、マンドリンクラブ、アカペラサークル HarmoQ によるミニコンサート、オリエンテーリングイベントである図書館謎解きクエストの開催、カフェのオープンなど、多くのイベントが行われ、開館を心待ちにしていた多くの人で賑わった。

また、これに先立つ9月29日(土)の「九州大学伊都キャンパス完成記念式典」に合わせて開催した「中央図書館開館記念式典」では、宮本図書館長、久保総長の挨拶の後、久保総長、丸野俊一理事・副学長、宮本図書館長、有川節夫前総長、法学府博士課程1年ハイトフ・スナトゥーラさん(学生代表)による、記念のテープカットに続いて、館内の見学会が開催された。

「伊都図書館」から「理系図書館」へ再改称

伊都キャンパスのウエストゾーンにある理系図書館は、全学教育および人社系の学生・教職員へのサービス提供開始に伴い平成21年4月に「伊都図書館」と改称していたが、イーストゾーンに基幹教育および人社系を主たるサービス対象とした中央図書館が全面開館したことにより、平成30年10月1日に再び「理系図書館」と改称した。宮本一夫附属図書館長と富浦洋一理系図書館長による看板上掲式を行い、総合的な自然科学系図書館として再出発した。



理系図書館看板上掲式の様子

【九州工業大学】

北九州市立大学とのラーニングコモンズサポーター合同研修会の実施

本学のラーニングコモンズサポーター（以下 LCS）と北九州市立大学の図書館サポーターとの交流の機会を設け、サポーターの研修の充実や職員の新たなネットワーク創出を図るため、平成 29 年 12 月 7 日（木）、15 日（金）の 2 日間で両大学にてラーニングコモンズサポーターの合同研修を実施した。

第 1 回 となる平成 29 年 12 月 7 日（木）は、北九州市立大学附属図書館のラーニングコモンズにて、学生による図書館紹介と、それぞれの活動報告についてのポスター発表を行なった。

第 2 回 は、平成 29 年 12 月 15 日（金）に九州工業大学附属図書館ラーニングコモンズにて、グループワークを行い、今後の協働について話し



合った。

参加者は両日合わせて 34 名で、実施後に行なったアンケートでは、普段訪問できない他大学の図書館を見学できたことや、活動報告を通じてお互いの特色を再認識できたことで、よい刺激を受けた等、大変好評であった。

今年度は、グループワークで話し合った新たな取り組みを、協働で実施する予定にしている。



LCS による「夕方 4 時半から講座」シリーズの実施

今年度より、4 時限目で授業が終わる学生の参加を考慮した連続講座を実施した。第一弾として、全学アカウントの提供が始まった「MATLAB」と全学生が学ぶ「C 言語」に関する講座を開催した。講師役は、それぞれ LCS が務めた。

平日限定 LC サポーター企画
夕方 4 時半からの
『1から学ぶC言語
プログラミング講座』

第1回	6月27日(水)	基本的なVisualStudioの説明 インストールガイド
第2回	7月4日(水)	C言語の基本的な書き方
第3回	7月11日(水)	フロー制御 (if, forなど)
第4回	7月18日(水)	関数の記述

要予約：図書館WEBサイトの専用フォームから申込
希望の講座のみの受講も可能
その他：ノートP.C.(Windows/Macどちらでも可)を持参
各回約40分

場所：図書館(7階) 1階中央ラーニングcommons
時間：午後4時30分～午後5時10分
申し込み：必要(九工入生優先)
問い合わせ：図書館サービス係
電話：093-884-3073
メール：tos-kanri@jimu.kyutech.ac.jp



参加者は、「MATLAB」が全4回合わせて43名、「C言語」は全4回合わせて14名であった。実施後のアンケートでは、両講座とも満足度が高く、今後

も同様の講座を続けて欲しいといった声が聞かれるなど好意的な意見が寄せられた。

本講座は、広報自体はこれまで通り(ポスターの掲示やカウンターでの声掛け等)であったが、参加者数の多い講座であった。そのため、取り扱う内容や開始時間および所要時間(長くても60分)の設定が、本学学生に適した形態だったと推測される。今後も、同様の形態での講座を実施する予定である。



【熊本大学附属図書館】

「おめでとうくまぼん！～10周年の歩み～」

熊本大学附属図書館公認キャラクター「くまぼん」は今年で誕生から10周年を迎えた。これを祝して、10年間にわたるくまぼんの図書館での歩みをロビー展示にて紹介した。また、知られざるくまぼん誕生秘話も公開。10周年特別企画として冊子を作成し、自由に持ち帰れるようにしたところ、大変好評であった。



誕生秘話を明かした冊子

くまぼん 10年の歩み

TAによるミニセミナー「くまぼんカフェ」を開催

図書館TAが、『座って ぶらり熊本 講座』と題して、大学近郊や県内のおすすめスポットを紹介するミニセミナーを開催した。県外出身の新生や、熊本のことをよく知らない留学生には大変わかりやすく興味深い内容で、好評を博した。



TAが手がけたポスター

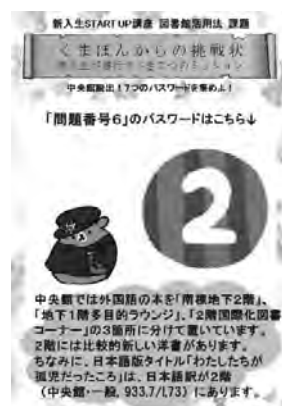


ミニセミナーの様子

新生用ガイダンス 「謎解きラリー」

「図書館の使い方を楽しく知って欲しい」と、新生用ガイダンスで謎解きラリー「くまぼんからの挑戦状」を実施。問題を解いて指定のスポット

をまわり、キーワードを集めていくことで楽しく図書館の魅力を学べるというもの。ちょっと難しい問題もあり、新生生たちは力を合わせて取り組んでいた。



学生選書員による選書ツアー開催

学生選書員による選書ツアーが平成30年10月29日に開催された。4名の学生選書員が書店で1人20冊程度の本を選んだ。

自分が読むための本ではなく、図書館に配架される本の選書とあって、みな真剣な顔で選んでいた。毎年2～3回の学生選書ツアーを開催しているが、毎回大人気のツアーとなっている。



【佐賀大学附属図書館】

図書館脱出ゲーム（第二弾）の開催

佐賀大学附属図書館（本館）では、平成 29 年 11 月に佐賀大学学部生・院生を対象とした図書館脱出ゲーム（第二弾）を開催しました。

図書館脱出ゲームとは、図書館の中を探索しながら謎を解いていく体験型ゲームです。図書館に関心を持ってほしい、図書館をもっと活用してほしいという願いを込め、ゲームを楽しみながら図書館の本や設備、サービスなどを学ぶことができる内容を目指しました。

今回の脱出ゲームは、「真夜中のメッセージ」というタイトルとし、K教授が残したメッセージを解き明かすというストーリーとしました。



脱出ゲームのポスター



脱出ゲームの問題

また、今回も佐賀大学生協に協賛いただき、脱出成功者には、プレゼントを用意しました。

参加者数は338名と昨年より多くの参加がありましたが、問題の難易度が少し上がったためか脱出成功者は202名であり、昨年度よりも脱出成功率は低くなりました。グループで協力しながら解いたり、一人でじっくり解いたり参加スタイルは様々でしたが、みなさん楽しそうに挑戦してくれました。



グループで協力しながら問題を解く学生



OPAC を検索しながら問題を解く学生

参加者へのアンケート結果によると、「図書館に対する理解が深まった」と回答した学生は89.1%、「脱出ゲームが図書館のことを知るのに有効」と回答した学生は97.0%と図書館に関心を持ってもらうには効果的なイベントであったと考えられます。今後も今回のアンケート結果を参考に図書館の活用を促すようなイベントを開催していきたいと考えています。

【長崎大学】

1. 長崎大学 CHODAI 古本募金を開始

2017年10月より、不要になった本を古書店に買い取ってもらい、その買取金額が長崎大学に寄付される「古本募金」を開始した。

募金は、館内に設置した回収BOXに入れてもらうほか、提携業者へ直接回収を依頼する方法がある。

寄附金は、学生用図書の購入費等に充てる予定である。



2. Library Lovers' Nagasaki の開催

長崎県大学図書館協議会で開催しているイベント「Library Lovers' Nagasaki」も今回で3回目を迎え、今年は参加大学の合同イベントとして『「助けて！でじまくん」～おまがり～ず大ピンチ！！～』を10月16日～11月12日に開催した。

いたずらをしてポスターの中に閉じ込められた「おまがり～ず」(公式キャラクター)を救う参加型救出ゲームで、ゲームをクリアした学生には、特製紙クリップをプレゼントした。「今年も楽しかったです。」「子ども心を思い出しました。」「図書館って意外と広い。」などのコメントが寄せられた。

【福岡教育大学】

1. センター長と学生との懇談会の実施

平成29年12月、学術情報センターを利用している大学院生及び学生から参加者を募り、センター長との懇談会を実施した。16名の学生が参加し、図書館に対する意見や要望など活発な意見交換が行われ、今後の図書館を運営していく上で有意義

3. 中央図書館前にコーヒーの移動販売

7月より、図書館玄関前広場で市内のコーヒー専門店による移動販売が開始された。長期休暇を除く、月曜・水曜・金曜に図書館前で淹れたてコーヒーが楽しめる。密閉できるタンブラーも販売されており、図書館内への持ち込みも可能となっている。

4. 医学分館に「ひとやすみ文庫」コーナーを設置

2月より医学書や実用書以外の“楽しむための図書”を展示するコーナーを設置した。

小説や生活、趣味の本を中心に展示しており、リラックスしたり読書を楽しんだりするための来館も期待している。また、館内やキャンパス内の季節を感じる情景や何気ない日常を切り取り、「ひとやすみ写真館」として紹介している。



5. 経済学部分館でポイントカードの配付を開始

11月より学生や院生向けに、入館1回1ポイント、貸出1冊3ポイント、本の紹介POP書き4ポイントとして、有効期間1年間のポイントカードの配付を開始した。ポイント数に応じて、コピー代のサービスやプリペイドカードのチャージサービスなどの特典がある。

な会となった。

このようにして集めた利用学生の意見から Japan Knowledge の接続数を増やし机上の電気スタンドの点検を実施する等の改善を実施した。

2. オープンキャンパス2018年の実施

7月21日（土）開催の大学オープンキャンパス行事として図書館ツアーと小学校教科書のミニ展示及び謎解きゲーム「福教大の財宝を探せ！」を実施した。

図書館ツアーでは職員が施設の使い方及び設置の目的等の説明を行いながらラーニングコモンズ・貴重書庫等の各施設を40～50分程度で見学した。

小学校教科書のミニ展示では小学校4年生の教科書を教科毎に4冊（戦後に使用した教科書、保護者世代が使用した教科書、

高校生世代が使用した教科書、最新の教科書）展示し、教科書の変遷を感じられるように実施した。謎解きゲームは参加者が図書館を巡りキーワードを集めることで答えが分かるようになっている。楽しみながら図書館を探検することを通じて館内の施設や図書の配置を知ることが出来るように工夫している。今年は400名以上が挑戦し248名が正解した。

【宮崎大学附属図書館】

1. 宮崎県立図書館との連携協定

平成30年4月に、宮崎県立図書館と連携協力に関する協定を締結した。宮崎県立図書館と相互に連携協力することにより、知の共有・創造の拠点として、学術、教育及び文化の継承・発展並びに地域貢献に寄与することを目的とする。

連携協定にもとづき、10月から宮崎県立図書館マイラインサービスの利用を開始した。これにより、宮崎県立図書館所蔵の図書を附属図書館に取

3. 子ども図書室の活用

10月28日（日）開催の大学主催イベント「教育大へ行ってみよう！」に参加し、子ども図書室を開室した。当日は延べ271人の子どもと保護者が来室し、各々が好きな絵本や児童書を手に取りゆったりと読書を楽しんでいた。また、本学の幼稚園教員を目指す学生が企画する子ども図書室イベントを支援している。学生が飾り付けをした子ども図書室に附属幼稚園の園児を招待し、絵本の読み聞かせの他に簡単なものづくりやゲームを行っている。



4. テーマ展示

2～3か月毎にテーマを決めて図書を展示している。平成30年度は「大学生生活応援」、「絵本」、「秋」をテーマとした。季節に沿ったもの、世間で話題となっているものをテーマとしてtwitter等にて広報するなど図書館に足を運ぶ契機となるように企画している。



協定書の披露の様子

り寄せての貸出、宮崎県立図書館で借りた図書を
附属図書館で返却、附属図書館で貸し出した図書
を宮崎県立図書館で返却することが可能になった。

2. グローカルエリアを設置

学生や教職員だけでなく、地域や企業の方など、
様々な方々が交流して協働する場として、本館 1
階にグローカルエリアを設置した。

ブース席、ソファ席を設置し、ミーティングや
イベント等で利用することができる。また、宮崎
県、地域学、国際関係の図書や留学生用図書を配
架した。



グローカルエリア

3. グループ学修室等の移設整備

本館 2 階のグループ学修室 1・2 を 3 階へ移
設した。また、本館 2 階のグループ学修室および
グローバル学修室を、個人学習スペースとして整
備した。



グループ学修室 1



個人学習スペース

4. 「没後 90 年 若山牧水パネル展」

本館 1 階グローカルエリアにおいて 6 月 25 日
～7 月 31 日に、「没後 90 年 若山牧水パネル展～
短歌県みやざき企画～」を開催した。また、パネ
ル展開催期間中の 7 月 9 日に、記念イベントとし
て「牧水先生！おいしい短歌おしえてください！」
(公開歌会等) を開催した。



展示の様子



公開歌会の様子

5. 全国大学ビブリオバトル 2018 予選会

7 月 12 日、10 月 25 日に全国大学ビブリオバト
ルの予選会を本館で開催した。両日ともにバト
ラーの熱い思いに、会場は盛り上がった。



全国大学ビブリオバトル 2018 予選会

6. 学生選書ツアー（第1回）

5月26日、市内の大型書店において学生選書ツアーを実施した。学生13名の参加があり、専門分野や興味のある本を選び、160冊を購入した。参加した学生からは、たくさんの本を買えて良かった、図書館に行くことがより楽しみになったといった感想が寄せられた。購入した本は学生の推薦理由などを添えて展示された。



選書ツアーの様子

7. 学生サポーター

9月6日・7日に行われた第8回大学図書館学生協働交流シンポジウム、及び10月30日～11月1日に行われた図書館総合展に参加した。

学生協働交流シンポジウムでは、日ごろの活動についてポスター発表を行った。



学生協働交流シンポジウムでのポスター発表

図書館総合展では全国学生協働サミットをはじめ、各フォーラムに参加した。

8. 大学開放事業

「平成30年度みやだい WakuWaku 体験 Day」

11月17日～18日に大学開放事業が実施され、図書館の開放とともに、廃棄図書のリサイクル市、「芥川賞・直木賞・本屋大賞 受賞作」の企画展示を実施した。訪れた一般市民・学生・教職員へ図書や雑誌567冊を無償配布した。



本館 図書のリサイクル市

昨年度に引き続き、学生による研究発表の場として図書館の施設を開放し、4 団体が展示、発表を行ったほか、図書館サポーター企画の「ミニブック作製体験」、「ビブリオバトル」も行われ、幅広い年代の地域住民に来館していただくことができた。



ミニブック作製体験の様子

【琉球大学】

EU 資料展を開催

EU 情報センターの指定を受けていることから、例年、駐日欧州連合代表部が主催する日本と欧州連合の友好イベントである「日・EU フレンドシップウィーク」の一環として、欧州連合に関する理解を深めることを目的に「EU 資料展」を開催しています。



2007 年度から毎年 EU 加盟国 1 ヶ国を取り上げて紹介していましたが、今年は特定の国に絞らず、EU 全体を紹介する「EU 資料展」を開催しました。5 月 28 日（月）から 6 月 15 日（金）までの約 3 週間行った資料展では、EU に関するクイズを作成し、正解者には駐日欧州連合代表部から提供されたオリジナルグッズを進呈しました。

環境展を開催

6 月の環境月間に合わせ、本学のエコロジカルキャンパス活動の一環として、環境の保全についての関心と理解を深める目的で、所蔵する環境関連図書やポスターの展示を行う企画展を毎年開催

しています。

今年は 6 月 25 日（月）から 7 月 30 日（月）までの約 1 ケ月間、「美ら島の未来を考えよう」をテーマに、環境に関する資料とあわせて学内の取り組みを紹介しました。6 月には世界自然遺産の登録を目指していた「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」について、推薦が取り下げられてしまうというニュースもありましたので、関心を持ってもらうために世界遺産や沖縄関連の資料も展示しました。



平成 30 年度琉球大学附属図書館・博物館（風樹館）企画展を開催

平成 26 年度より博物館（風樹館）と合同で、沖縄県内及び鹿児島県奄美地方の市町村と共催して、企画展を開催しています。今年度は宜野座村教育委員会との共催により「琉球大学資料にみる宜野座村の自然と暮らし」を 10 月 27 日から 11 月 30 日まで宜野座村立博物館で開催しました。

本企画展では、通常一般公開をしていない附属

図書館所蔵の原資料や写真資料、博物館（風樹館）所蔵の動物標本や骨格標本、および宜野座村立博



物館所蔵の資料を展示し、ギャラリートークや講演会等のイベントも開催しました。



図書館活動報告

福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会

【平成 29 年度 第 2 回研究会・総会】

日 時：平成 30 年 2 月 6 日（火）13：30～16：30

場 所：聖マリア学院大学 7 号館ロイアカデミアホール

当番館：聖マリア学院大学

研究テーマ

- （1）「図書館だより」の作成について

協議事項

- （1）マンガの収集(マンガコーナーの設置)と利用状況について
（2）平成 30 年度研究テーマについて

承合事項

- （1）留学生への支援について
（2）新入生対象のオリエンテーションや館内ツアーの内容について

講演

演題：「建学の精神を基盤とした St. Mary's Library－ミゼリコルディアの鐘・Our St. Mary's Heritage Gallery からのメッセージ」

講師：聖マリア学院大学学長
井手 三郎 氏

総会

1. 平成 29 年度決算について
2. 平成 30 年度予算（案）について
3. 平成 30 年度幹事館及び当番館の選出について
4. 館協議会理事館・監事館の選出について

その他

※終了後、図書館見学（希望者のみ）

【平成 30 年度 第 1 回研究会】

日 時：平成 30 年 9 月 26 日（水）13：30～16：20

場 所：有明工業高等専門学校 管理棟 2 階
大会議室

当番館：有明工業高等専門学校

出席者：12 館（17 名）

研究テーマ

- （1）中小規模地方大学図書館の地域における役割について

協議事項

- （1）平成 30 年度第 2 回研究テーマについて

承合事項

- （1）eBook の資産計上基準について
（2）資産計上時の管理方法について
（3）電子ジャーナルバックファイルの資産計上について
（4）図書館の HP 運用について

- （5）学生アルバイト(有給)や学生サポーター(無給)との学生協働について
（6）雑誌の管理について
（7）退職教員図書の取り扱いについて
（8）除籍図書・廃棄図書の処分・活用等について

講演

演題：『「新聞コラム」を使ったアクティブ・ラーニングの取り組み～図書館利用の活性化に向けた「文学 I」の授業（反転授業）の実践例』

講師：有明工業高等専門学校名誉教授
焼山 廣志 氏

その他

次期当番館の確認

※終了後、図書館見学（希望者のみ）

九州地区私立短期大学図書館協議会

【2018 (平成 30) 年度総会・研修会】

日 時：平成 30 年 4 月 19 日 (木) 13:30～17:00

場 所：ホテル ウェルビューかごしま

当番館：鹿児島純心女子短期大学図書館

出席者：17 館 24 名

総 会

- (1) 平成 29 年度事業報告
- (2) 平成 29 年度決算報告および監査報告
- (3) 平成 30 年度事業計画(案)および予算書(案)
審議

- (4) 平成 30 年度役員館について

研修会

1. 講 演

演題：私の「西郷どん」現象の楽しみ方

講師：小川 学夫 氏

(鹿児島純心女子短期大学名誉教授)

2. 協議事項

加盟館名簿の見直しについて

3. 承合事項

加盟館名簿の利用状況について

4. フリーディスカッション

- ① 機関リポジトリの運用について
- ② 各種 SNS の運用について
- ③ 図書館のキャラクターについて

【2018 (平成 30) 年度夏期研修会】

日 時：平成 30 年 8 月 24 日 (金) 13:30～16:00

場 所：小幡記念図書館

出席者：8 館 11 名

1. 講 演

演題：「小幡記念図書館における図書館利活用の
新しい取り組みー事例を中心にしてー」

講師：友松尚美 氏

(小幡記念図書館館長)

2. フリーディスカッション

3. 見学

小幡記念図書館、福澤諭吉旧居、福澤記念館

福岡県・佐賀県図書館協議会

【平成 30 年度総会】

日 時：平成 30 年 5 月 25 日 (金)

場 所：国際医療福祉大学

福岡保健医療学部 1 号館大会議室

当番館：国際医療福祉大学

九州地区キャンパス図書館

出席者：33 館 (41 名)

協議事項

- (1) 平成 29 年度決算報告および監査報告
- (2) 平成 30 年度事業計画および予算案審議
- (3) 次期理事館及び監事館の選出について
- (4) 福岡県図書館協会理事の選出について
- (5) その他

地区研究会報告

(1) 北部地区

北九州工業高等専門学校図書館

図書係長 泉 千里 氏

(2) 福岡地区

福岡女子大学学術情報センター (図書館)

図書館事務 大瀧 麻耶 氏

(3) 南部地区

聖マリア学院大学図書館

司書 山口 真由美 氏

承合事項

- (1) 官公庁、民間企業、または著者個人等より、事前の申し出なく、寄贈図書等が郵送されてきた場合の対応について
- (2) 分置図書（図書館外に配架された図書）の蔵書点検の実施状況について
- (3) 科学研究費等の国および政府系関係機関の競争的資金で購入した図書の取り扱いについて
- (4) 科学研究費で ILL の支払を処理する方法について

講演

演題 「認証統合・連携が拓く図書館サービス」

講師 佐賀大学工学部教授

只木 進一 氏

鹿児島県大学図書館協議会活動報告

1. 第 39 回鹿児島県大学図書館協議会総会

日時：平成 30 年 5 月 28 日（月）13:30～14:35

会場：鹿児島県立短期大学附属図書館 2 階
共同研究室

出席者：11 館 18 名（オブザーバー館 1 館 1 名を含む）

協議事項

- (1) 平成 29 年度会務報告
- (2) 平成 29 年度決算報告及び監査報告
- (3) 平成 30 年度事業計画
- (4) 平成 30 年度予算審議
- (5) 協議題審議
鹿児島県大学図書館協議会紙媒体資料の保存期間について
- (6) その他

2. 平成 30 年度第 1 回鹿児島県大学図書館協議会研修会

日時：平成 30 年 10 月 22 日（月）14:00～14:30

会場：鹿児島県立短期大学附属図書館 2 階
視聴覚室

内容：研修報告（研修名：第 7 回大学図書館学生協働交流シンポジウム）

報告者：土持 遼馬 氏（鹿児島大学附属図書館）

参加者：17 名

3. 平成 30 年度第 1 回鹿児島県大学図書館協議会講演会

日時：平成 30 年 10 月 22 日（月）14:50～16:30

会場：鹿児島県立短期大学附属図書館 2 階
視聴覚室

内容：「鹿児島の歴史や明治維新の過程に関わった人の人物像を知る」

講師：東川 隆太郎 氏

（特定非営利活動法人 まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会）

参加者：21 名

熊本県大学図書館協議会

1. 平成 30 年度熊本県大学図書館協議会総会

日時：平成 30 年 6 月 6 日（水）

15:00～17:00

会場：熊本大学附属図書館 2 階会議室

出席者：13 館 23 名

議事：

- (1) 平成 29 年度総会議事録の確認
- (2) 平成 29 年度事業報告について

- (3) 平成 29 年度収支決算並びに監査報告
について
- (4) 平成 30 年度事業計画（案）及び予算
（案）について
- (5) 熊本県図書館連絡協議会理事会理事
の選出について
- (6) 次年度世話館について
- (7) その他（照会事項等）
- (8) 意見交換会

2. 新聞所蔵リストの作成（データ更新）

平成 30 年 6～7 月実施

3. 平成 30 年度熊本県大学図書館職員研修会

日 時：平成 30 年 9 月 21 日（金）

14：00～16：30

会 場：熊本大学附属図書館 1 階

ラーニングコモンズ

出席者：8 館 17 名

①図書館職員向け英会話研修

「ライブラリアンのための英会話」

②全体での質疑応答及び意見交換

長崎県大学図書館協議会

1. 平成 30 年度総会

日 時：平成 30 年 6 月 6 日（水）

14 時 30 分～16 時 30 分

会 場：長崎外国語大学

出席者：11 館 22 名（外に長崎県公共図書館
等協議会より 1 名）

議 題：

- (1) 平成 29 年度事業報告・決算報告・監
査報告について
- (2) 平成 30 年度役員館等の選出（案）に
ついて
- (3) 平成 30 年度事業計画（案）及び予算
（案）について

報告事項：

- (1) 各館の当面する諸問題について
- (2) その他

2. 研修事業（平成 30 年 1 月～12 月）

(1) 平成 29 年度実務研修会

日 時：平成 30 年 1 月 29 日（月）

14 時 30 分～17 時

会 場：長崎大学

演題「ゲーミフィケーションを導入した図
書館利用教育『Libardry』の取り組み
について」

講 師：名城邦孝氏（常磐短期大学）、
寺島哲平氏（常磐大学）

参加者 17 名

(2) 長崎県公共図書館等協議会との合同研
修会

日 時：平成 30 年 8 月 27 日（月）

10 時～15 時 20 分

会 場：長崎大学

演題①情報リテラシー育成を支援するサー
ビス

講 師：高田淳子氏（獨協大学非常勤講師）

演題②広島市立中央図書館におけるビジ
ネス支援サービス

講 師：土井しのぶ氏（広島市中央図書館）

参加者 119 名（大学 12 名、公立等 107 名）

(3) 平成 30 年度実務研修会

日 時：平成 30 年 11 月 9 日（金）

14 時～17 時

会 場：長崎大学

演題：「大学図書館と著作権」
講師：松村悠子氏（文化庁著作権課）
参加者 22 名

期 間：10 月 16 日～11 月 12 日
合同企画：参加型救出ゲーム『「助けて！で
じまくん」～おまがり～ず大ピンチ！！～』
（参加校：10 校、参加者：約 600 名 クリ
ア者：384 名）

3. Library Lovers' Nagasaki 2018

長崎県大学図書館協議会事業として、Library
Lovers' Nagasaki 2018 を開催した。

佐賀県大学図書館協議会

平成 30 年度 佐賀県大学図書館協議会総会

日 時：平成 30 年 8 月 24 日（金）
場 所：西九州大学短期大学部附属図書館
出席者：5 館 8 名
議 事

1. 協議事項

- (1) 平成 29 年度決算報告について
- (2) 平成 30 年度予算（案）について
- (3) 平成 31 年度幹事館および監査館の選出
について

2. 報告事項

- (1) 各大学図書館の活動状況について
- (2) 平成 29 年度補助金活用の報告
- (3) 佐賀県読書推進運動協議会・総会の報告
について

3. 承合事項

- (1) 寄贈図書を受入について
- (2) 学外者の利用について
- (3) 紛失図書の弁償について

沖縄県大学図書館協議会

1. 平成 30 年度（第 46 回）総会

日 時：平成 30 年 9 月 10 日（月）
14：30～15：10

会 場：沖縄工業高等専門学校
メディア棟 3 階視聴覚ホール

出席者：46 名

議 題：平成 29 年度事業報告
平成 29 年度決算報告
平成 29 年度監査報告
平成 30 年度事業計画（案）
平成 30 年度予算（案）

平成 31 年度の当番館及び平成 30
年度の監査館の選出

2. 講演会・研修会

(1) 平成 30 年度第 1 回沖縄県大学図書館協
議会講演会

日 時：平成 30 年 9 月 10 日（月）
15：25～16：45

会 場：沖縄工業高等専門学校
メディア棟 3 階視聴覚ホール

テーマ：飛行の原理のはなし
講師：安藤安則氏
(沖縄工業高等専門学校長)
出席者：46名

(2)平成30年度沖縄県大学図書館協議会研
修会
日時：平成30年12月14日(金)
14:00~17:00

会場：琉球大学附属図書館 本館2階
ラーニングコモンズパソコンエリア
テーマ：「国立国会図書館が提供するレファ
レンスに役立つデータベース」
「国立国会図書館のレファレンス・サ
ービス」
講師：森田大作氏(国立国会図書館 利用
者サービス部 図書館資料整備課)
出席者：23名

宮崎県大学図書館協議会

1. 平成30年度宮崎県大学図書館協議会総会

日時：平成30年9月18日(火)
14:30~16:30
場所：都城工業高等専門学校
(管理棟1階 会議室)
出席者：8大学 16名
県立図書館(オブザーバー)2名

議事

- (1)平成29年度 決算報告及び監査報告
について
- (2)平成30年度 事業計画及び予算につ
いて
- (3)協議事項(4件)
 - ①大学図書館の機能強化について
 - ②「日本一の読書県」を目指す宮崎県
大学図書館ができること
 - ③図書館のスタッフ研修(講習会)に
ついて
 - ④パスファインダーのセッティング
方法と活用(運用)について
- (4)承合事項(4件)
 - ①学外者の利用について

②ビブリオバトルと図書館の関わり
かたについて

③寄贈図書の入入れと処分について

④オープンキャンパス開催中におけ
る図書館の対応について

(5)次年度当番館・監事館ローテーション
について

2. 平成30年度宮崎県大学図書館協議会職 員等講演会

日時：平成30年11月20日(火)
14:00~16:00

場所：宮崎大学附属図書館 3階
視聴覚室

出席者：30名

演題：「突然やってくる『その時』のために
2016年4月熊本地震 熊本大学附属
図書館はどう対応したか」

講師：濱崎千雅氏(熊本大学附属図書館
図書館課副課長)

大分県大学図書館協議会

【平成 30 年度総会】

日 時：平成 30 年 9 月 21 日（金）

13:30～16:40

当番館：大分工業高等専門学校

会 場：大分工業高等専門学校会議室

出席者：8 館 15 名

協議事項

- (1) 平成 29 年度事業報告について
- (2) 平成 29 年度決算報告及び監査報告について
- (3) 平成 30 年度事業計画（案）について
- (4) 平成 30 年度予算（案）について
- (5) 平成 31 年度役員館（案）及び当番館（案）について

承合事項

- (1) ラーニング・コモンズの利用方法について

情報交換

- 夜間開館に伴う経費節減について

○利用者数の減少について

○図書の廃棄等について

講演

演 題：「現代の法社会と図書館の役割：ウズベキスタン、ケニア、韓国、日本を俯瞰して」

講 師：久保山力也氏

（大分工業高等専門学校）

【平成 29 年度研修会】

日 時：平成 30 年 2 月 20 日（火）

14:00～16:00

場 所：大分大学学術情報拠点（図書館）

演 題：「豊府聞書と瓜生島考」

防災の観点から見た 1596 年豊後地震津波

講 師：日名子健二氏（郷土史研究者）

参加者：6 館 17 名

平成 30 年度 福岡県・佐賀県大学図書館協議会 福岡地区研究会記録

日 時：平成 30 年 11 月 16 日（金）

13:30～17:00（受付 13:00～）

会 場：西南学院大学 図書館 1 階

多目的ホール

出席者：13 館 22 名、オブザーバー参加 1 名

テーマ：図書館と建築

当番館：西南学院大学図書館

九州産業大学図書館

1. 講演

「サードプレイスとしての図書館 - 九州大学中央図書館ができるまでを振り返って -」
九州大学附属図書館

e リソース課 課長 堀 優子 氏

2. 事例報告

(1) 「図書館設計事情」

株式会社佐藤総合計画

九州オフィス 副代表 飛永 直樹 氏

(2) 「新図書館開館2年目の利用状況」

西南学院大学図書館

課員 小川 ゆきえ 氏

(3) 機関リポジトリについて

(提案大学：九州産業大学)

3. 承合事項

(1) 図書館開催イベントについて

(提案大学：福岡女学院大学)

(2) 館内施設の現状について

(提案大学：九州産業大学)

4. その他

・平成31年度福岡地区研究会当番大学の紹介

※閉会后、西南学院大学図書館見学

平成30年度九州地区国立大学附属図書館館長懇談会

日 時：平成30年11月30日（金）

13:30～14:45

会 場：九州大学附属図書館 中央図書館

4階館長室

出席者：10大学11名

テーマ：

1. 図書館が直面している課題について

・協会ビジョン2020への対応

2. その他

平成30年度九州地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

日 時：平成30年11月30日（金）

13:30～14:45

会 場：九州大学附属図書館 中央図書館

4階会議室

出席者：11大学 20名

議 事：

・報 告

1. 平成30年度九州地区国立大学図書館

協会実務者連絡会議報告

2. 平成30年度九州地区目録講習会実施

報告

3. その他

・協会ビジョンに基づく各会員館の活動状況の確認（中間）について

・協議題

1. 平成31年度九州地区国立大学法人等職員採用事務系（図書）二次専門試験について

2. その他

・図書系専門試験、採用試験、職員のキャリアパス等について

平成 30 年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議

日 時：平成 30 年 11 月 30 日（金）

15:00～16:15

会 場：九州大学附属図書館 中央図書館

4 階会議室

出席者：11 大学 31 名

議 事：

・報 告

1. 館長懇談会報告
2. 事務（部・課）長会議報告

3. 国立大学図書館協会秋季理事会報告

4. その他

・協議題

1. 九州地区国立大学図書館協会総会当番校及び九州地区大学図書館協議会役員館の選出について

2. その他

会議終了後、中央図書館館内見学ツアーを実施した。

事務局報告

平成30年度九州地区大学図書館協議会 幹事館・副幹事館会議

平成30年12月18日(火)に書面回議により開催の結果、「第69回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)」について承認された。

その他について、意見等はなかった。

議題

1. 第69回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)について

今年度当番館 鹿屋体育大学附属図書館から資料1のとおり第69回九州地区大学図書館協議会総会記録(案)の提出がありました。

内容をご確認下さい。

2. その他

① 九州地区大学図書館協議会総会における講演、協議事項等について

ご意見等がおありでしたらお知らせ下さい。

なお、協議事項等は別途第70回総会当番館(九州工業大学)から照会します。

② 副議長について

総会における副議長は、平成11年度からの副幹事館制度の発足により、副幹事館の図書館長により次の順番で執り行われておりますので、平成31年度につきましても、副幹事館のうちのいずれかの図書館長にお願いいたします。

<参考>

平成11年度(公立大学部会副幹事館長)
福岡女子大学

平成12年度(私立大学部会副幹事館長)
鹿児島国際大学

平成13年度(私立短大部会副幹事館長)
沖縄キリスト教短期大学

平成14年度(国立大学部会副幹事館長)

福岡教育大学

平成15年度(公立大学部会副幹事館長)

宮崎公立大学

平成16年度(私立大学部会副幹事館長)

筑紫女学園大学・短期大学

平成17年度(私立大学部会副幹事館長)

九州東海大学

平成18年度(国立大学部会副幹事館長)

長崎大学

平成19年度(国立大学部会副幹事館長)

熊本大学

平成20年度(公立大学部会副幹事館長)

宮崎県立看護大学

平成21年度(私立大学部会副幹事館長)

九州産業大学

平成22年度(国立大学部会副幹事館長)

大分大学

平成23年度(私立大学部会副幹事館長)

熊本学園大学

平成24年度(公立大学部会副幹事館長)

長崎県立大学

平成25年度(私立大学部会副幹事館長)

久留米大学

平成26年度(公立大学部会副幹事館長)

鹿児島県立短期大学

平成27年度(私立大学部会副幹事館長)

沖縄国際大学

平成28年度(私立短大部会副幹事館長)

鹿児島純心女子短期大学

平成29年度(公立大学部会副幹事館長)

九州歯科大学

平成30年度(私立大学部会副幹事館長)

九州国際大学

③ 副幹事館、表彰委員館、編集委員館の交代について

平成31年度は、副幹事館を選出して頂く年（任期は2年間）ですので、各部会で当番館のご検討をお願いいたします。

また、表彰委員館、編集委員館の任期は1年間（再任は妨げない。）ですので、各部会で当番館のご検討を、併せてお願いいたします。

第 69 回九州地区大学図書館協議会総会記録

日 程 表

1. 期 日 平成 30 年 4 月 20 日 (金)
2. 会 場 ホテルウェルビューかごしま 2 階 「潮騒」
〒890-0062 鹿児島県鹿児島市与次郎 2 丁目 4-25
TEL. 099-206-3838 FAX. 099-206-5069
<http://www.welview.com/>
3. 日 程 8 : 3 0 受付開始
9 : 0 0 1. 開会
2. 当番館長挨拶
3. 幹事館長挨拶
4. 会議日程・配布資料等の説明
5. 議長の選出
6. 副議長の選出
7. 新任館長等紹介
8. 永年勤続表彰式
9. 幹事館報告
10. 平成 29 年度決算及び監査報告
11. 平成 30 年度予算 (案)
12. 国立、公立、私立、私立短大各部会報告
13. 協議事項
九州地区目録講習会に係る経費補助について
14. 承合事項
10 : 4 0 休憩
10 : 5 5 15. 講演
講師：松尾 彰文 (鹿屋体育大学非常勤研究員)
演題：陸上競技 100m で速く走るための科学的サポート
12 : 1 5 16. 次期役員館の選出
17. 次期当番館の挨拶
18. 議長、副議長の解任
12 : 3 0 19. 閉会

出席者名簿（○は新任者）

【国立大学】

九州工業大学

附属図書館長 ○赤 星 保 浩
 図書館・情報推進課長 岩 村 哲 也
 図書館・情報推進課
 図書館サービス係長 玉 井 紘 子
 図書館・情報推進課員 有 田 智 子

大分大学学術情報拠点(図書館)
 学術情報拠点長 ○古 城 和 敬
 研究・社会連携部長 ○堀 池 幸 浩
 学術情報課長 黒 柳 裕 子

福岡教育大学附属図書館

学術情報課長 栗 林 陸 生

宮崎大学附属図書館

附属図書館長 兒 玉 修
 事務長 ○福 本 久 幸

九州大学附属図書館

附属図書館長 宮 本 一 夫
 事務部長 ○渡 邊 俊 彦
 図書館企画課長 瓜 生 照 久
 図書館企画課課長補佐 ○新 山 明 子

鹿児島大学附属図書館

附属図書館長 鈴 木 廣 志
 学術情報部長 ○山 本 和 雄
 情報管理課長 ○河 野 泰 久

佐賀大学附属図書館

学術研究協力部長 市 山 郁 生
 情報図書館課長 大 瀧 礼 二

鹿屋体育大学

附属図書館長 山 田 理 恵
 学術図書情報課長 宮 園 礼 子

長崎大学附属図書館

附属図書館長 ○田井村 明 博
 学術情報部長 満 本 眞 一
 学術情報管理課長 上 野 宏

琉球大学附属図書館

附属図書館長 ○川 本 康 博
 学術情報部長 ○熊 渕 智 行
 情報サービス課長 ○佐 藤 秀

熊本大学附属図書館

附属図書館長 高 宮 正 之
 教育研究支援部長 ○澤 田 敬
 図書館課長 高 木 貞 治

出席館 11館 30名

欠席館 なし

【公立大学】

北九州市立大学図書館

図書館係長 鈴 木 吉 美

北九州学術研究都市学術情報センター

学術情報担当課長 竹 下 誠 次
 学術情報担当主任 森 田 亜希子

九州歯科大学附属図書館

館長 ○中 島 啓 介
 学務部長 桑 野 主 税

福岡女子大学学術情報センター

図書館部門職員 大 瀧 麻 耶

福岡県立大学附属図書館

学務部長

○柳 瀬 智 幸

宮崎公立大学附属図書館

図書館長

福 田 稔

主事

佐 山 実 希

長崎県立大学附属図書館

佐世保校附属図書館長

石 田 和 彦

宮崎県立看護大学附属図書館

館長

浅 野 昌 充

専門主幹

○門 内 隆 志

佐世保校図書グループリーダー

豊 村 正 博

司書

福 留 美 香

司書

山 口 洋 子

シーボルト校附属図書館長

○下 野 孝 文

鹿児島県立短期大学附属図書館

館長

○倉 重 賢 治

シーボルト校図書グループリーダー

森 美 彦

沖縄県立看護大学附属図書館

館長

佐 伯 宣 久

熊本県立大学学術情報メディアセンター

事務長

安 達 直 昭

沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館

館長

小 西 潤 子

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

館長

河 上 央

企画情報課長

○三 宮 和 彦

名桜大学附属図書館

図書課長

赤 嶺 達 也

大分県立看護科学大学附属図書館

司書

白 川 裕 子

出席館 15館 25名

欠席館 なし

【私立大学】

西日本工業大学図書館

図書館長

○中 島 潤 二

福岡工業大学附属図書館

館長

三 田 肇

事務長

中 島 良 二

九州国際大学図書館

図書館長

○松 井 貴 英

福岡女学院大学図書館

図書館課長

吉 村 球 夫

大学事務局長（兼）大学事務局

図書館事務室長事務取扱

○坂 根 一 生

課長補佐

宮 崎 昭

福岡大学図書館

図書部事務部長

井 口 紀 子

九州女子大学・九州女子短期大学附属図書館

図書情報課 副主幹

築 地 恵 子

学術情報課 課長

河 村 正 徳

西南学院大学図書館			
事務部長	○古 庄 敬 文	長崎ウエスレヤン大学附属図書館	
副課長	山 下 大 輔	司書	天 野 みゆき
純真学園大学図書館		長崎国際大学図書館	
司書・主任	山 本 哲 也	課長	久 保 隆 司
		課員	福 田 恵美子
第一薬科大学図書館		崇城大学図書館	
図書館長	増 田 寿 伸	館長	原 島 俊
主任司書	古 沢 恒 平	課長	高 吉 夕 香
九州情報大学附属図書館		熊本学園大学附属図書館	
附属図書館長	丹 羽 崇 之	図書館長	林 裕
筑紫女学園大学附属図書館		図書情報課長	石 川 知 子
課長	徳 田 孝	東海大学附属図書館九州図書館	
久留米工業大学学術情報センター		副主事	福 田 則 勝
学術情報センター長	高 橋 雅 仁	主査	古 場 哲 也
久留米大学附属図書館		熊本保健科学大学附属図書館	
図書館長	高 栢 真 一	司書	山 崎 栄 子
課長	岸 川 弘 子	九州看護福祉大学附属図書館	
国際医療福祉大学 九州地区キャンパス図書館		図書館長	山 本 恵 子
館長	原 富 英	日本文理大学図書館	
事務主幹	福 島 正 徳	主任	渡 辺 ひろえ
西九州大学附属図書館		別府大学附属図書館	
図書館長	溝 田 勝 彦	主任	○佐 藤 里 香
長崎総合科学大学附属図書館			○岩 本 治 美
図書課長	山 川 邦 子	九州保健福祉大学附属図書館	
長崎外国語大学教育研究メディアセンター		附属図書館事務室課長	伊 藤 倫 子
マルチメディアライブラリー		宮崎産業経営大学附属図書館	
事務室長補佐	別 所 佐和子	図書課課員	緒 方 清 美
長崎純心大学早坂記念図書館			
図書館事務室長	岩 崎 由希子		

南九州大学・南九州短期大学図書館
図書館長 ○柚木崎 千 春
図書館係長 岩 重 麻 未

沖縄国際大学図書館
図書館長 金 城 智 子

鹿児島国際大学附属図書館
館長 小 川 英 司
次長（事務室長兼任） ○小 林 和 代
事務室長補佐 大 西 由以子

沖縄大学図書館
図書館長 西 泉
事務長 糸 数 晃
相談員 浜 川 智久仁

鹿児島純心女子大学附属図書館
図書館長 ○岡 村 和 信
図書館係長 岩 永 眞佐子

沖縄科学技術大学院大学図書館
アシスタント・マネージャー
上 原 藤 子

志学館大学図書館
館長 近 藤 諭
主任・司書 荻 迫 香

出席館 36館 56名
欠席館 11館

【私立短期大学】

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学図書館
図書館長 ○大 澤 得 二
司書 小 林 由 憲

鹿児島純心女子短期大学図書館
図書館長 西 眞知子
図書館主任 ○森 理 恵

鹿児島女子短期大学附属図書館
図書館長 住 澤 知 之
課長代理 濱 田 みゆき

出席館 3館 6名
欠席館 1館

第 6 9 回九州地区大学図書館協議総会議事要録

1. 開会

当番館の鹿屋体育大学 宮園学術図書情報課長から開会宣言があった。

2. 幹事館長挨拶

幹事館である九州大学附属図書館 宮本館長から挨拶があった。

3. 当番館長挨拶

当番館である鹿屋体育大学附属図書館 山田館長から挨拶があった。

4. 会議日程・配布資料の説明

宮園課長から配布資料および会議日程について説明があった。

5. 議長を選出

「九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則」第2項に基づき、当番館長である鹿屋体育大学附属図書館の山田館長が選出され、続いて挨拶があった。

6. 副議長を選出

議長から、副幹事館である九州国際大学附属図書館の松井館長が副議長として指名され、承認された。続いて挨拶があった。

7. 新任館長等紹介

議長から、出席者名簿に基づき、新任館長等の紹介があった。

8. 表彰式

資料1のとおり、「九州地区大学図書館協議会表彰規程」に基づき、17名が表彰された。被表彰者を代表して、鹿屋体育大学附属図書館の山下智久氏へ表彰状が授与された。

(1) 勤務期間20年以上の者で退職または転職した者(表彰規定第2条第2号)

(所属機関、氏名の50音順)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第2号	大分大学	山田 哲 敬
2	〃	鹿児島大学	中野 里 香
3	〃	九州大学	上田 はるみ
4	〃	九州大学	木村 優
5	〃	九州大学	安武 由美子
6	〃	九州大学	山崎 法子
7	〃	熊本大学	樋口 文子
8	〃	西南女学院大学	一木 由美子
9	〃	宮崎大学	小川 稔

(2) 勤務期間20年に達した者(表彰規定第2条第1号)

(所属機関、氏名の50音順)

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第1号	鹿児島純心女子短期大学	森 理 恵
2	〃	鹿屋体育大学	山 下 智 久
3	〃	九州大学	末 信 友実子
4	〃	九州大学	高 田 博 子
5	〃	九州大学	長 野 ふ み
6	〃	九州看護福祉大学	福 本 直 子
7	〃	福岡教育大学	石 丸 律 子
8	〃	宮崎産業経営大学	緒 方 清 美

9. 幹事館報告

幹事館の九州大学より、以下の3点について報告があった。

(1) 平成29年度新規加盟館、退会館は無く、平成30年4月1日現在の加盟館は、国立大学11大学、公立15大学、私立47大学、私立短大4大学の合計77大学である。

(2) 平成30年2月に『九州地区大学図書館協議会誌第60号』を刊行し、加盟館に発送済みである。ホームページでの公開については作業が遅れており早急に対応したい。鹿屋体育大学の山田図書館長による巻頭言のほか、聖マリア学院大学図書館、西南学院大学図書館の図書館紹介、その他加盟館ニュースが寄せられたが、寄稿論文はなかった。今後、積極的な執筆投稿をお願いしたい。

(3) 九州地区国立大学図書館協会では、目録講習会を昨年9月14日～15日に琉球大学にて開催した。今年度は熊本大学にて開催予定である。また昨年12月には、電子書籍の購読および利用促進に関わる研修会を熊本大学にて開催をした。今年度も同様のテーマでの開催を予定している。

10. 平成29年度決算及び監査報告

幹事館から、資料2の決算案に基づき報告があった。続いて、監査館である福岡女子大学から、監査の結果、適切に会計処理されている旨の報告があり、審議の結果、承認された。

11. 平成30年度予算(案)

幹事館から、資料3の予算案に基づき説明があり、審議の結果、一部文言修正し、承認された。

12. 国立、公立、私立、私立短大各部会報告

(1) 国立大学部会報告

鹿屋体育大学から、資料4-1に基づき、九州地区国立大学図書館協会総会の報告があった。

○国立大学図書館協会から依頼のあった、第65回国立大学図書館協会総会(2018年6月22日～23日開催予定)の研究集会のテーマは、同協会総務委員会提案の「国立大学図書館協会ビジョン2020への対応状況について」を九州地区としては承認することとした。

○その他の協議事項については、提案どおり了承された。

(2) 公立大学部会報告

宮崎県立看護大学から、資料4-2に基づき、九州地区大学図書館協議会公立大学部会の報告があった。

1) 協議事項：九州地区公立大学図書館の協働について

データベース共有、電子書籍共有に向けて今後管理運営についての情報共有に取り組んでいく。

2) 協議事項：入りやすく使いやすい図書館について

図書館としての基本姿勢をもとに、本を利用する授業での取り組み、静的空間をきちんと確保しつつラーニングコモンズ等を整備する。

照合事項

○障がい者への施設支援について、実際の検証が重要であるとの意見が出た。

○電子書籍購入について、メリットデメリットを把握し、取り組んでいく。

○寄贈図書の取り扱いについて、最終的な廃棄についても寄贈者の同意が重要である点が指摘された。

(3) 私立大学部会報告

鹿児島国際大学から、資料4-3に基づき、私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会の報告があった。

○議事内容は、報告事項、協議事項、承合事項、確認事項であった。

○議事終了後、国立情報学研究所尾城孝一氏に、「学術情報流通をめぐる動向と今後の展望」というテーマで講演していただいた。

(4) 私立短期大学部会報告

九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学から、資料4-4に基づき、九州地区私立短期大学図書館協議会総会等の報告があった。

1) 総会では、平成29年度事業報告、平成29年度決算報告及び監査報告、平成30年度事業計画(案)及び予算書(案)が審議され、承認された。

2) 研修会では、鹿児島純心女子短期大学名誉教授小川学夫氏に「私の『西郷どん現象』の楽しみ方」というテーマで講演していただいた。

3) その他 機関リポジトリ、図書館キャラクター、SNS活用等についてフリーディスカッションを行った。

13. 協議題「九州地区目録講習会に係る経費補助について」

九州大学から、年度当たり2万円を平成30年度から平成32年度の3年間経費補助すること、平成33年度以降も経費補助を継続する場合、協議会総会で改めて協議することの提案があり、承認された。本年度の経費補助については、次年度繰越金から支出することが確認された。

14. 承合事項

承合事項1～2について、各館において今後の参考としていただくこととなった。

・承合事項1「研究費購入図書の消耗品扱いについて」(提案大学：宮崎公立大学)

・承合事項2「図書館利用教育の実施状況について」

(提案大学：九州女子大学・短期大学)

15. 講演

鹿屋体育大学 宮園学術図書情報課長から講師の紹介があり、以下の演題で講演が行われた。

演題 『陸上競技100mで速く走るための科学的サポート』

講師 鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究センター 非常勤研究員 松尾 彰文氏

16. 次期役員館の選出

(1) 監査館の選出

幹事館の九州大学より、監査館は幹事館所在地に近い福岡市内の大学が適しているため、次期監査館について福岡大学より内諾を得ている旨の説明があり、承認された。

(2) 表彰委員館、編集委員館の選出

昨日の各部会での検討の結果、以下の大学が選出されたとの説明があり、承認された。

○表彰委員館：宮崎大学（国立）、宮崎県立看護大学（公立）、沖縄科学技術大学院大学（私立）、鹿児島純心女子短期大学（私立短大）

○編集委員館：長崎大学（国立）、九州歯科大学（公立）、熊本保健科学大学（私立）、鹿児島純心女子短期大学（私立短大）

17. 次期当番館の挨拶

九州大学より、次期当番館は、福岡地区から選出することになっており、平成31年度は九州工

業大学が当番校となる旨説明があり、承認された。続いて、次期当番館の九州工業大学附属図書館の赤星館長より挨拶があった。

18. 議長、副議長の解任

予定していた議事が全て終了したため、議長、副議長が解任された。

19. 閉会

当番館の鹿屋体育大学 宮園学術図書情報課長から、閉会宣言があった。

平成29年度決算

一般会計

(単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
会費	462,000	462,000	6,000円×77館	総会運営費	300,000	300,000	当番館：長崎大学
協議会誌代	117,600	117,600	59号：147部	協議会誌発行費	216,000	216,000	60号（2017）200部
広告掲載料	250,000	120,000	7社	事務費	20,000	15,720	会誌送料、送金手数料、消耗品費
広告掲載料	120,000	120,000	8社 H28年度分	積立金会計へ繰入	413,600	287,880	総会講演会謝金・研修事業補助
小計	949,600	819,600		小計	949,600	819,600	

積立金会計

(単位：円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	188,618	188,618		表彰経費	75,000	40,348	7名（1号該当4名、2号該当3名）
預金利息	10	3	8月12日：1円、2月10日：2円	研修会経費	50,000	50,000	総会講演謝金等
一般会計から繰入	413,600	287,880		研修会補助費	180,000	140,000	各県協議会（7地区）研修経費補助 福岡・佐賀県（福岡地区）及び宮崎県 は辞退した。
				次年度繰越金	297,228	246,153	
小計	602,228	476,501		小計	602,228	476,501	

平成30年3月23日会計監査実施済

監査館 福岡女子大学学術情報センター（図書館）



図書館事務 大瀧 麻耶

平成30年度予算(案)

一般会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	備考	科目	予算	備考
会費	462,000	@6,000円×77館	総会運営費	300,000	当番館：鹿屋体育大学
協議会誌代	117,600	第60号(2017) @800円×147部	協議会誌発行費	216,000	第61号(2018) 200部
広告掲載料	250,000	15社	事務費	20,000	会誌送料、送金手数料、消耗品費
広告掲載料	130,000	8社 H29年度分	積立金会計へ繰入	423,600	総会講演会謝金・各県協議会研修事業補助
小計	959,600		小計	959,600	

積立金会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	備考	科目	予算	備考
前年度繰越金	246,153		表彰経費	75,000	平成28年度実績(平成29年度異常に多かった為)
預金利息	3		研修会経費	50,000	総会講演会謝金等
一般会計から繰入	423,600		研修会補助費	180,000	各県協議会研修経費補助(9地区×20,000円)
			次年度繰越金	364,756	
小計	669,756		小計	669,756	

九州地区大学図書館協議会会則

昭和 25 年 11 月 27 日施行
昭和 32 年 9 月 12 日改正
昭和 41 年 6 月 2 日改正
昭和 51 年 4 月 23 日改正
昭和 55 年 5 月 9 日改正
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 10 年 4 月 24 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正

(名 称)

第 1 条 本会は九州地区大学図書館協議会と称する。

(会 員)

第 2 条 本会は別に定める資格を有する九州地区の大学図書館等（以下「大学図書館」という。）をもって組織する。

会員は大学等の機関をもって一会員とする。

本会に入会するには、所定の入会申込書を提出し、総会の議決を経るものとする。

(目 的)

第 3 条 本会は会員の緊密な連絡と協力によって、大学図書館の施設、管理及び運営等の健全な進歩発達をはかり、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第 4 条 本会は前条の目的を達するためにつぎの事業を行う。

1. 図書館の研究・調査に関する事項
2. 研究会・講習会等の開催に関する事項
3. 日本図書館協会等の連絡提携に関する事項
4. 学術図書文献の調査及び総合目録の調整に関する事項
5. 学術図書文献の収集、保存及び活用に関する事項
6. その他必要とする事項

(役 員)

第 5 条 本会に幹事館、副幹事館及び監査館を置く。

幹事館は会務を総括し、本会を代表する。

副幹事館は、幹事館とともに会務を処理する。

監査館は、会計を監査する。

第 6 条 幹事館は、総会で互選し、その任期は 2 年とする。但し、再選を妨げない。

副幹事館は、国立大学、公立大学、私立大学及び私立短期大学の各部会からそれぞれ 1 館を総会で互選し、その任期は 2 年とする。但し、再選を妨げない。

監査館は、総会で互選し、その任期は 1 年とする。但し、再選できない。

(事務所)

第 7 条 本会の事務所は幹事館内におく。

(会 議)

第 8 条 本会は毎年 1 回総会を開催する。但し必要に応じ会員の 3 分の 1 以上から請求があった場合は、臨時総会を開くことができる。

第 9 条 総会の運営は、輪番に定められた当番館が幹事館と協議してこれに当たる。

第 10 条 総会は次の事項を行う。

1. 事業計画
2. 決算の承認
3. 予算の決定
4. 幹事館、副幹事館及び監査館の選任及び当番館の決定
5. その他必要なる事項の決定

第 11 条 総会の票決権は 1 大学等の機関につき 1 票とし、議決は多数決による。可否同数の時は幹事館の決するところによる。

(会 計)

第 12 条 本会の経費は会費その他をもってあてる。

第 13 条 会費は年額 6,000 円とし、毎会計年度始めに幹事館に納入するものとする。

第 14 条 本会の予算は毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受け次の総会において承認を得なければならぬ。

第 15 条 本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

(会則変更)

第 16 条 本会則の変更は総会にはからなければならない。その決定には出席会員の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則

昭和 32 年 9 月 12 日決定

昭和 37 年 10 月 2 日改正

昭和 48 年 5 月 11 日改正

昭和 53 年 5 月 12 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

平成 26 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会総会の運営は簡素を尊重し、輪番に当番を引受け易くするためにこの細則を定める。
2. 総会の議長は当番館の館長とする。
3. 議長は副議長を指名することができる。
4. 当番館は幹事館及び副幹事館と協議の上、2ヶ月前に会員宛日程・場所等を通知し、出席者の職氏名及び協議事項・承合事項の提出を求める招請状を送ること。
但し、緊急を要する臨時総会等の場合はこの限りでない。

5. 当番館は協議事項をまとめ、議題として提案理由、又は簡単な説明を付して、出席者に配付し、調査研究の余地を充分与えるように努めること。
6. 当番館は総会の議事録を作成し、会員に配付するものとする。
7. 幹事館及び副幹事館は当番館と協力して、総会で決議された要求事項を貫徹するよう努力する。
8. 総会と同時に会員のための研修会を行うものとする。
9. 会員以外の出席を許すことがある。但し票決権はない。
10. 当番館は加盟館の所属県を次の三地区に分け、地区ごとに等しく持ち廻る。

福岡地区	福岡県
中部地区	長崎県、佐賀県、熊本県、大分県
南部地区	鹿児島県、宮崎県、沖縄県
11. 総会の経費は主として会費及び出席者から徴収する金員より支出し、総会の議決を経た予算案によって実行するものとする。
12. 研修会の講師招聘に要する旅費、謝礼等の費用は、毎年会費の内から積立てて支弁する。

九州地区大学図書館協議会入会に関する細則

昭和 32 年 9 月 1 日施行
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会へ入会を希望する大学図書館（以下「入会申込館」という。）は、最寄りの本協議会 会員の紹介書（別記様式 1）により、入会申込書（別記様式 2）を、総会の 3ヶ月前までに幹事館に提出する。
2. 紹介を依頼された会員は、総会において入会申込館の概略を説明する。
3. 入会資格の基準は下記のとおりとする。
 - (1) 大学、短期大学又はこれに準じる教育研究機関の図書館施設であること。
 - (2) 本協議会の目的及び事業に賛同し、熱意が十分認められること。
4. 入会申込館は、総会当日は、入会承認まではオブザーバーとして出席することができる。

別記様式 1

九州地区大学図書館協議会入会紹介書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

下記の図書館は、本協議会の目的及び事業に賛同され、また熱意が十分認められますので、本協議会への入会を紹介します。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 図 書 館 名：
4. 図 書 館 長 名：
5. 所 在 地：

別記様式2

九州地区大学図書館協議会入会申込書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

貴協議会の趣旨に賛同し、平成 年度からの入会を申し込みます。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 大 学 設 置 年：
4. 学 生 数：
5. 図 書 館 名：
6. 所 在 地：
(電話、FAX 番号)
7. 図 書 館 長 名：
8. 図 書 館 の 概 要：(別紙)
9. 紹 介 館 名：

別紙

図 書 館 の 概 要

図 書 館 名			
事務責任者職・氏名	(電話番号)		
図 書 館 職 員 数	人 (内、司書数 人)		
図 書 館 延 床 面 積	m ²	閲覧座席数	席
蔵 書 冊 数	冊 (内 和書 冊、洋書 冊)		
年間受入図書冊数	冊	年間受入雑誌種数	種
年 間 開 館 日 数	日	通常開館時間	時 分～ 時 分
土 曜 開 館	1 実施 2 未実施		
日 曜 祝 日 開 館	1 実施 2 一部実施 3 未実施		
奉 仕 対 象 学 生 数	人	奉仕対象教職員数	人
年 間 貸 出 冊 数	冊		
図 書 館 相 互 協 力	図書貸借	1 実施 2 未実施	
	文献複写	1 実施 2 未実施	
学外者へのサービス	1 実施 2 未実施		
コンピュータの導入	1 導入済 2 未導入		
コンピュータの適用業務	1 貸出 2 図書受入 3 図書整理 4 雑誌管理 5 OPAC		
ネットワーク環境	1 学内 LAN 接続済 2 インターネット接続済		
国立情報学研究所との接続	1 接続 (1 NACSIS-CAT/ILL 2 NACSIS-IR 3 その他) 2 未接続		

九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規

平成 2 年 4 月 20 日施行

平成 5 年 4 月 23 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

1. (1) 本協議会誌は、総会記事のほか各部会報告、ニュース等を掲載し、九州地区大学図書館間の情報誌としての機能を果たすこととする。
(2) 本協議会誌編集のために編集委員会を設ける。
2. (1) 編集委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された編集委員館で構成する。
(2) 幹事館及び総会当番館は、業務上の必要から編集委員館として参加することとし、上記 2-(1)の編集委員館を兼ねることができる。
(3) 各部会の編集委員館は、幹事館の近隣地区から選出されることが望ましい。
(4) 編集委員館の任期は 1 年とし再任を妨げない。
3. (1) 編集委員館は、それぞれの所属する各部会の記事の提出を担当する。
(2) 総会当番館は、総会記事を担当する。
(3) 幹事館は、編集に関する事務を担当する。
4. 本協議会誌発行のため、印刷代、送料、編集会議費、原稿執筆等謝礼は、毎年会費の内から支弁する。
5. 本協議会誌に掲載された論文・記事は、九州地区大学図書館協議会ホームページに掲載することとする。

九州地区大学図書館協議会表彰規程

(目 的)

第 1 条 この規程は、九州地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に加盟の大学図書館職員を表彰するため、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰を受ける者)

第 2 条 表彰は、次の各号の 1 に該当し、かつ勤務成績が良好である者について行う。

- (1) 勤務期間 20 年に達した者
- (2) 勤務期間 20 年以上の者で退職または転職した者
- (3) 図書館学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者

(表彰状の授与)

第 3 条 表彰は、協議会が別紙様式による表彰状を授与することによって行う。

2 第 2 条に該当する者については、前項の表彰状にあわせて記念品を贈呈することができる。

(被表彰者の選考)

第 4 条 表彰をうける者は、所属図書館長の推薦（別紙様式による）に基づき、表彰委員会が選考し、協議会の総会の承認を経て決定する。

(表彰委員会)

第5条 表彰委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された表彰委員館各1館で構成し、任期は1年として再任を妨げない。

(表彰の日)

第6条 表彰は、協議会の総会において行う。

(勤務期間の計算)

第7条 第2条第1号および第2号の勤務期間は、国公立大学図書館およびその他の図書館等に在職した期間とし、10年以上を加盟の大学図書館等に勤務したものでなければならない。

2 次の各号に掲げる期間は、勤務期間から除算する。

(1) 休職の期間（公傷病の期間は除く）

(2) 懲戒処分により停職された期間

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、表彰の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和55年5月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月18日から施行する。

文書番号

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会幹事館

〇〇大学附属図書館長 殿

〇〇大学（附属）図書館長

〇 〇 〇 〇

平成 年度表彰者の推薦について

下記の者を本年度の総会における被表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。
なお、別紙のとおり表彰者調書を提出します。

表彰者調書

〇〇大学（附属）図書館

職名		ふりがな 氏名		生年月日	年 月 日
表彰の区分	第2条第1号 第2条第2号 第2条第3号				
勤務成績					
第7条第2項第2号該当の有無 有 ・ 無					
履 歴 事 項					
年 月 日	勤 務 内 容 等	勤 務 期 間			
		加盟館での勤務期間	その他の図書館等 での勤務期間		
～		年 月 日	年 月 日		
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
～					
計					
		合 計 年 月 日			

- 注 (1) 勤務期間の計算は暦日数によるものとし日を月に換算するときは30日をもって1月とすること。
- (2) 第7条第2項各号の除算期間は朱書すること。
- (3) 第2条第3号に該当する場合は、「勤務成績」欄は「業績」と書きかえて記入し、参考となる資料等を添付すること。

表彰状様式（1）第2条第1号および第2号該当者

表 彰 状

殿

あなたは 年のがい間大学図書館関係の業務に精励されその功労はまことに大きいものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

表彰状様式（2）第2条第3号該当者

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

研修会の補助に関する申合せ

平成6年9月20日決定
平成7年9月 1日改正
平成8年4月24日改正
平成9年4月25日改正
平成10年4月25日改正
平成15年4月25日改正
平成24年4月20日改正
九州地区大学図書館協議会

地区の大学図書館活動を発展させるため、研修会、講演会等（以下「研修会」という。）の経費を補助する申合せ事項を次のとおり定める。

1. 研修会経費を補助する対象は、九州地区大学図書館協議会に加盟している大学図書館が主体となって構成する県又は地区単位の組織とし、別紙のとおりとする。
2. 補助する経費の金額は、年間1組織に対して2万円を限度とする。
3. 研修会に要する経費の補助を受けようとするときは、別記様式による申請書を幹事館に提出するものとする。
4. 経費の補助を受けた組織は、本協議会誌に活動報告を掲載するものとする。
5. 経費の支出は、積立金会計を適用する。
6. 新たな組織から経費の補助の申し出があったときは、総会において承認を得るものとする。
7. これに関する事務は、幹事館で行う。

別 紙

経費を補助する県又は地区単位の組織

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（北部地区）
2. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡地区）
3. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）
4. 長崎県大学図書館協議会
5. 熊本県大学図書館協議会
6. 大分県大学図書館協議会
7. 宮崎県大学図書館協議会
8. 鹿児島県大学図書館協議会
9. 沖縄県大学図書館協議会

別記様式

平成 年度九州地区大学図書館協議会・研修会経費補助申請書

平成 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

幹事館 殿

組織名
代表者
(所属大学)

九州地区大学図書館協議会の研修会経費の補助を受けたく、下記のとおり申請します。

記

研 修 会 名 及 び 内 容	
開 催 期 間	自 平成 年 月 日 () 時 分 至 平成 年 月 日 () 時 分
開 催 場 所	
参 加 機 関 数	
参 加 人 数	
必 要 経 費 (具体的に)	ア. 講 師 謝 金 _____ イ. 資 料 代 金 _____ ウ. 会 場 借 上 費 _____ エ. そ の 他 _____ 合 計 _____
連 絡 担 当 者	氏名 職 電話

* 研修内容は、大学図書館活動を促進させるテーマであること。

副幹事館の役割

平成 10 年 8 月 31 日
幹事館・副幹事館会議

- 1 通常時
 1. 年度の事業・活動についての立案・協議
 2. 所属部会との連絡調整と情報の提供
 3. 入会の勧誘等、協議会の広報（特に所属部会の各大学に対して）
 4. ホームページ充実のための提言案、意見具申
- 2 会誌発行時
各部会から編集委員館は選出されているため、特に役割はないと思うが
・所属部会の情報（研究発表等、原稿情報）の提供等
- 3 総会時
 1. 副議長職に館長を選出等、当番館及び幹事館と協力しての総会運営
 2. 前日決定された各部会における役員館の事務局への連絡
 3. 総会終了後、当番館作成の議事録の確認
- 4 その他
別段ある場合は、適宜副幹事館から提案

九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について

平成 10 年 8 月 31 日
平成 20 年 1 月 30 日改正
幹事館・副幹事館会議

1. 九州地区大学図書館協議会ホームページ（以下、「ホームページ」という。）は、九州大学附属図書館のサーバに置く。
(URL <http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>)
2. ホームページの管理、維持（デザイン・構成を含む）は、九州地区大学図書館協議会事務局（以下、「事務局」という。）が行う。
3. ホームページに掲載する事項は当面以下のものを中心に構成するものとし、それぞれ以下の館が作成する。
 - ・トピックス&NEWS
加盟館、各設置部会毎協議会、各県毎協議会等からの原稿に基づき事務局が作成
総会議事録は総会当番館が原稿を作成

- ・加盟館一覧 事務局が作成
 - ・役員館一覧 事務局が作成
 - ・当番館一覧 事務局が作成
 - ・九州地区大学図書館協議会誌
事務局が作成（論文等執筆者に対しては原稿依頼時にホームページ掲載方の承諾を得るものとする。）
 - ・地区内の図書館活動
各設置部会毎の図書館協議会等及び各県毎協議会が作成
 - ・各種関連資料集 事務局が作成
 - ・関連サイトへのリンク集 事務局が作成
 - ・地区内各館の相互利用案内 各加盟館からの原稿に基づき事務局が作成
 - ・フォーラムページ
協議会が設定するテーマに対する加盟館からの自由な意見・回答のページで、投稿は直接電子メールによる
4. 「3.」のほか、ホームページに文書・記事等の掲載を希望する副幹事館及び加盟館は、HTML形式等で原稿を作成し、事務局に送付するものとする。
- 事務局は内容を確認のうえ、ホームページに掲載する。

九州地区大学図書館協議会加盟館一覧

2019(H31).01.01 現在

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
国 立	九州工業大学 附属図書館 (館長 赤星保浩, 図書館・情報推進課長 岩村哲也)	804-8550	北九州市戸畑区仙水町1の1	093-884-3071 (093-884-3075)
	福岡教育大学 学術情報センター図書館 (センター長 池田 修, 学術情報課長 栗林陸生)	811-4192	宗像市赤間文教町1番5号	0940-35-1849 (0940-35-1705)
	九州大学 附属図書館 (館長 宮本一夫, 事務部長 渡邊俊彦)	819-0395	福岡市西区元岡744	092-802-2472 (092-802-2474)
	佐賀大学 附属図書館 (館長 山崎 功, 学術研究協力部長 市山郁生)	840-8502	佐賀市本庄町1	0952-28-8902 (0952-28-8909)
	長崎大学 附属図書館 (館長 田井村明博, 学術情報部長 満本眞一)	852-8521	長崎市文教町1の14	095-819-2193 (095-819-2196)
	熊本大学 附属図書館 (館長 高宮正之, 教育研究支援部長 澤田 敬)	860-8555	熊本市中央区黒髪2丁目40の1	096-342-2213 (096-342-2210)
	大分大学 学術情報拠点 (拠点長 古城和敬, 研究・社会連携部長 堀池幸浩)	870-1192	大分市大字旦野原700	097-554-7482 (097-554-7488)
	宮崎大学 附属図書館 (館長 新地辰朗, 事務長 福本久幸)	889-2192	宮崎市学園木花台西1丁目1番地	0985-58-2879 (0985-58-2896)
	鹿児島大学 附属図書館 (館長 鈴木廣志, 学術情報部長 山本和雄)	890-0065	鹿児島市郡元1丁目21の35	099-285-7415 (099-285-7413)
	鹿屋体育大学 附属図書館 (館長 山田理恵, 学術図書情報課長 今村政義)	891-2393	鹿屋市白水町1	0994-46-4874 (0994-46-4157)
琉球大学 附属図書館 (館長 川本康博, 事務部長 熊淵智行)	903-0214	中頭郡西原町字千原1番地	098-895-8153 (098-895-8154)	
公 立	北九州市立大学 図書館 (館長 中尾泰士, 学術情報課長 江上照明)	802-8577	北九州市小倉南区北方4丁目2の1	093-964-4404 (093-964-4437)
	九州歯科大学 附属図書館 (館長 中島啓介, 学務部長 桑野主税)	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2丁目6の1	093-582-1131 (093-583-7388)
	北九州学術研究都市 学術情報センター (総務企画部長 甲山乙也, 学術情報担当課長 竹下誠次)	808-0135	北九州市若松区ひびきの1番3号	093-695-3150 (093-695-3152)
	福岡女子大学 学術情報センター(図書館) (館長 太田雅規, 経営管理部長 杵掛裕顕)	813-8529	福岡市東区香住ヶ丘1丁目1の1	092-661-2416 (092-661-2416)
	福岡県立大学 附属図書館 (館長 永嶋由理子, 学務部長 柳瀬智幸)	825-8585	田川市伊田4395	0947-42-1760 (0947-42-9457)
	長崎県立大学 附属図書館 (館長 下野孝文, 佐世保校館長 石田和彦, 佐世保校図書館課長 犬塚尚志, シーボルト校図書館課長 柴崎康隆)	858-8580	佐世保市川下町123	0956-47-5958 (0956-26-2100)
	熊本県立大学 学術情報メディアセンター図書館 (センター長 村尾治彦, 事務長 安達直昭)	862-8502	熊本市東区月出3丁目1番100号	096-321-6614 (096-383-2999)
	大分県立芸術文化短期大学 附属図書館 (館長 河上 央, 企画情報課長 三宮和彦)	870-0833	大分市上野丘東1の11	097-545-4235 (097-545-4235)
	大分県立看護科学大学 附属図書館 (館長 藤内美保, 総務グループリーダー 高橋勝三)	870-1201	大分市大字廻栖野2944-9	097-586-4330 (097-586-4373)
	宮崎公立大学 附属図書館 (館長 福田稔, 事務長 梅村千恵子)	880-8520	宮崎市船塚1丁目1番地2	0985-20-4814 (0985-20-4806)
宮崎県立看護大学 附属図書館 (館長 浅野昌充, 総務課長 鬼東良一)	880-0929	宮崎市まなび野3-5-1	0985-59-7756 (0985-59-7773)	
鹿児島県立短期大学 附属図書館 (館長 倉重賢治, 副館長 太田博志)	890-0005	鹿児島市下伊敷1丁目52番1号	099-803-4475 (099-803-4473)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
公立	沖縄県立看護大学 附属図書館 (館長 佐伯宣久, 主査 平安美和子)	902-8513	那覇市与儀1-24-1	098-833-8806 (098-833-5134)
	沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館 (館長 小西潤子, 主査 松堂輝彦)	903-8602	那覇市首里当蔵町1-4	098-882-5038 (098-882-5068)
	名桜大学 附属図書館 (館長 小川寿美子, 図書課長 赤嶺達也)	905-8585	沖縄県名護市字為又1220-1	0980-51-1062 (0980-51-1065)
私立	西日本工業大学 図書館 (館長 中島潤二, 事務部長 山崎倫明)	800-0394	福岡県京都郡荏田町新津1-11	0930-23-7729 (0930-24-7900)
	西南女学院大学 図書館 (館長 南里宏樹, 課長 西川 忍)	803-0835	北九州市小倉北区井堀1丁目3の5	093-583-5959 (093-592-1885)
	九州国際大学 図書館 (館長 松井貴英, 事務室長 坂根一生(兼務))	805-8512	北九州市八幡東区平野1丁目6の1	093-671-8919 (093-671-8920)
	九州共立大学 附属図書館 (館長 田中雄二, 図書情報課長 田中雄二(兼務))	807-8585	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3036 (093-603-2260)
	九州女子大学・短期大学 附属図書館 (館長 田中雄二, 図書情報課長 田中雄二(兼務))	807-8586	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1	093-693-3124 (093-603-0494)
	福岡工業大学 附属図書館 (館長 三田 肇, 事務長 中島良二)	811-0295	福岡市東区和白東3-30-1	092-606-0691 (092-606-7389)
	福岡女学院大学 図書館 (館長 岩下伸朗, 課長 吉村球夫)	811-1313	福岡市南区日佐3丁目42の1	092-575-6402 (092-575-4605)
	九州産業大学 図書館 (館長 大宅明美, 事務部長 徳永譲二)	813-8503	福岡市東区松香台2丁目3の1	092-673-5382 (092-673-5999)
	福岡大学 図書館 (館長 有岡律子, 事務部長 井口紀子)	814-0180	福岡市城南区七隈8丁目19の1	092-871-6631 (092-865-3794)
	中村学園大学 図書館 (館長 津田博子, 推進役 高田和則)	814-0198	福岡市城南區別府5丁目7の1	092-851-2573 (092-841-7762)
	西南学院大学 図書館 (館長 古田雅憲, 事務部長 古庄敬文)	814-8511	福岡市早良区西新6丁目2の92	092-823-3426 (092-823-3480)
	純真学園大学 図書館 (館長 加藤亮二, 主任 山本哲也)	815-8510	福岡市南区筑紫丘1丁目1番1号	092-541-1527 (092-541-1542)
	第一薬科大学 図書館 (館長 増田寿伸, 主任司書 古沢恒平)	815-8511	福岡市南区玉川町22の1	092-541-0161 (092-542-9776)
	九州情報大学 附属図書館 (館長 丹羽崇之, 図書館司書 井上理恵子)	818-0117	太宰府市宰府6丁目3番1号	092-928-4000 (092-928-3200)
	筑紫女学園大学 附属図書館 (学術情報部長 時里奉明, 主査 笹渕美幸)	818-0192	太宰府市石坂2丁目12の1	092-925-9910 (092-925-3318)
	久留米工業大学学術情報センター (館長 高橋雅仁, センター室長 小林敬二)	830-0052	久留米市上津町2228-66	0942-65-3480 (0942-22-2385)
	聖マリア学院大学 図書館 (館長 日高艶子, 司書 山口真由美)	830-8558	久留米市津福本町422	0942-37-1138 (0942-37-1138)
	久留米大学 附属図書館 (館長 高栢真一, 課長 岸川弘子)	839-8502	久留米市御井町1635	0942-44-4015 (0942-43-0348)
	保健医療経営大学 情報メディアセンター図書館 (センター長 林 勝裕, 図書係 古澤亜紀)	835-0018	みやま市瀬高町高柳960-5	0944-67-7007 (0944-63-3003)
	国際医療福祉大学 九州地区キャンパス図書館 (館長 原 富英, 事務主幹 福島正徳)	831-8501	大川市榎津137-1	0944-89-2143 (0944-86-6000)
西九州大学 附属図書館 (館長 溝田勝彦, 課長 姉川博幸)	842-8585	神崎市神崎町尾崎4490-9	0952-37-9299 (0952-53-7869)	
活水女子大学 図書館 (館長 黒木 香, 課長 奥村治輝)	850-8515	長崎市東山手町1-50	095-820-6028 (095-823-3701)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
私	長崎総合科学大学 附属図書館 (館長 ブライアン・F・パークガフニ, 図書課長 山川邦子)	851-0193	長崎市網場町536	095-838-5142 (095-838-2072)
	長崎外国語大学 教育研究メディアセンター (センター長 マラ クラウディア, マルチメディアライブラリー事務室長補佐 別所佐和子)	851-2196	長崎市横尾3-15-1	095-840-2005 (095-840-2205)
	長崎純心大学 早坂記念図書館 (館長 ジュリアン パンダービーン, 事務室長 岩崎由希子)	852-8558	長崎市三ツ山町235	095-846-0084 (095-845-4279)
	長崎ウエスレヤン大学 附属図書館 (館長 菅原良子, 司書 植松久子)	854-0082	諫早市西栄田町1212-1	0957-26-8203 (0957-26-0244)
	長崎国際大学 図書館 (館長 岸原健二, 図書課長 久保隆司)	859-3298	佐世保市ハウステンボス町2825-7	0956-20-5560 (0956-39-4894)
	崇城大学 図書館 (館長 原島 俊, 課長 高吉夕香)	860-0082	熊本市西区池田4丁目22-1	096-326-3419 (096-359-3002)
	九州ルーテル学院大学 図書館 (館長 高野美雪, 学務・入試センター課長 水谷江美子)	860-8520	熊本市中央区黒髪3丁目12-16	096-343-1600 (096-343-0354)
	熊本学園大学 附属図書館 (館長 林 裕, 図書情報課長 石川知子)	862-8680	熊本市中央区大江2丁目5番1号	096-371-8047 (096-364-5173)
	東海大学 附属図書館 九州図書館 (館長 伊藤是清)	862-8652	熊本市東区渡鹿9-1-1	096-386-2634 (096-386-2769)
	熊本保健科学大学 附属図書館 (館長 飯山準一, 司書 山崎栄子)	861-5598	熊本市北区和泉町325	096-275-2264 (096-275-2265)
	九州看護福祉大学 附属図書館 (館長 山本恵子, 図書課長 稲葉千恵子)	865-0062	玉名市富尾888	0968-75-1840 (0968-75-1873)
	日本文理大学 図書館 (館長 福島 学, 課長補佐 小平正典)	870-0397	大分市大字一木1727	097-524-2711 (097-593-5166)
	立命館アジア太平洋大学 ライブラリー (総合情報センター長 KIM Rebecca ChungHee, アカデミック・オフィス課長 山下啓祐)	874-8577	別府市十文字原1-1	0977-78-1140 (0977-78-1141)
	別府大学 附属図書館 (館長 仲嶺真信, 事務次長 吉岡義信)	874-8501	別府市大字北石垣82	0977-66-9633 (0977-66-9632)
	九州保健福祉大学 附属図書館 (館長 倉内紀子, 課長 伊藤倫子)	882-8508	延岡市吉野町1714-1	0982-23-5562 (0982-23-5560)
	宮崎産業経営大学 附属図書館 (館長 大村昌弘, 課長 今川 威)	880-0931	宮崎市古城町丸尾100	0985-52-3205 (0985-50-4699)
	南九州大学・南九州短期大学 図書館 (館長 柚木崎千春, 図書課長 赤木裕美)	880-0032	宮崎市霧島5-1-2	0985-83-3430 (0985-83-3431)
	立 宮崎学園 図書館 (宮崎国際大学・宮崎学園短期大学) (館長 菅 邦男, 図書課長 小橋智子)	889-1605	宮崎市清武町加納丙1415	0985-85-1410 (0985-85-8189)
	鹿児島国際大学 附属図書館 (館長 小川英司, 図書館次長 小林和代)	891-0197	鹿児島市坂之上8-34-1	099-263-0732 (099-261-1198)
	鹿児島純心女子大学 附属図書館 (館長 岡村和信, 図書課長 岩永眞佐子)	895-0011	薩摩川内市天辰町2365	0996-23-5311 (0996-23-5030)
志学館大学 図書館 (館長 近藤 諭, 主任司書 荻迫 香)	890-8504	鹿児島市紫原一丁目59-1	099-812-8509 (099-257-0308)	
沖縄国際大学 図書館 (館長 上江洲 薫, 課長 金城智子)	901-2701	宜野湾市宜野湾2丁目6番1号	098-892-1111 (098-893-3274)	
沖縄大学 図書館 (館長 盛口 満, 事務長 糸数 晃)	902-8521	那覇市字国場555	098-832-5577 (098-834-1127)	
沖縄キリスト教学院 図書館 (館長 内間清晴, 課長 渡慶次智子)	903-0207	沖縄県中頭郡西原町字翁長777	098-946-1236 (098-946-1237)	
沖縄科学技術大学院大学 図書館 (館長 ミリンダ・プロヒッタ, アシスタント・マネージャー 上原藤子)	904-0495	沖縄県国頭郡恩納村字茶谷1919-1	098-982-3769 (098-966-8817)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
私立 短大	九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 図書館 (館長 大澤得二, 図書主任 八野梓)	803-8511	北九州市小倉北区下到尾津5の1の1	093-561-3541 (093-592-6184)
	福岡女子短期大学 図書館 (館長 尾花雄路, 課長 大橋祐子)	818-0193	太宰府市五条4丁目16-1	092-922-3604 (092-922-3596)
	鹿児島女子短期大学 附属図書館 (館長 住澤知之, 課長 南谷 久)	890-8565	鹿児島市高麗町6-9	099-254-9195 (099-254-5914)
	鹿児島純心女子短期大学 図書館 (館長 三島盛武, 課長 西 真知子)	890-8525	鹿児島市唐湊4丁目22の1	099-253-2677 (099-254-5247)

九州地区大学図書館協議会役員館一覽

年次 (回次)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和48年度 (24)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	福岡教育大学 長崎国際経済大学 福岡大学	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	
昭和49年度 (25)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	九州工業大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎県立女子短大 福岡大学	
昭和50年度 (26)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	佐賀大学 北九州大学 久留米大学	長崎大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和51年度 (27)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 九州歯科大学 久留米大学	大分大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	
昭和52年度 (28)	九州大学	福岡大学	国 公 私	福岡教育大学 福岡女子大学 西南学院大学	鹿児島大学 熊本女子大学 九州産業大学	
昭和53年度 (29)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎国際経済大学 久留米大学	
昭和54年度 (30)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 北九州大学 九州産業大学	佐賀大学 九州歯科大学 久留米大学	
昭和55年度 (31)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎大学 福岡社会保育短大 西南学院大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和56年度 (32)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本女子大学 九州産業大学	熊本大学 鹿児島県立短大 福岡大学	
昭和57年度 (33)	九州大学	福岡大学	国 公 私	長崎大学 北九州大学 八幡大学	鹿児島大学 福岡女子大学 熊本商科大学	
昭和58年度 (34)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	琉球大学 福岡社会保育短大 鹿児島経済大学	宮崎医科大学 鹿児島県立短大 八幡大学	
昭和59年度 (35)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 中村学園大学	大分医科大学 長崎県立女子短大 西日本工業大学	
昭和60年度 (36)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	宮崎大学 熊本女子大学 鹿児島経済大	九州工業大学 大分県立芸術短大 西日本工業大学	
昭和61年度 (37)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	熊本大学 北九州大学 長崎総合科学大学	大分大学 福岡社会保育短大 第一薬科大学	
昭和62年度 (38)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	宮崎医科大学 福岡女子大学 九州東海大学	大分医科大学 九州歯科大学 沖縄国際大学	

年次 (回数)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和63年度 (39)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 福岡大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 八幡大学	
平成元年度 (40)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 長崎県立女子短期大学 西南学院大学	佐賀大学 熊本女子大学 中村学園大学	
平成2年度 (41)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	福岡教育大学 北九州大学 九州産業大学	長崎大学 大分県立芸術文化短期大学 熊本商科大学	九州大学 大分医科大学 福岡女子大学 福岡大学 福岡女子短期大学
平成3年度 (42)	九州大学	福岡大学	国 公 私	九州工業大学 福岡県社会保育短期大学 久留米大学	鹿児島大学 長崎県立大学 西日本工業大学	九州大学 鹿屋体育大学 九州歯科大学 中村学園大学 筑紫女学園短期大学
平成4年度 (43)	九州大学	福岡女子短期大学	国 公 私	宮崎大学 福岡女子大学 鹿児島経済大学	大分大学 九州歯科大学 活水女子大学	九州大学 福岡教育大学 北九州大学 九州国際大学 東筑紫短期大学
平成5年度 (44)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎医科大学 熊本女子大学 活水女子大学	大分医科大学 鹿児島県立短期大学 鹿児島経済大学	九州大学 熊本大学 福岡女子大学 西南学院大学 筑紫女学園短期大学
平成6年度 (45)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	熊本大学 大分県立芸術文化短期大学 活水女子大学	佐賀医科大学 宮崎公立大学 鹿児島経済大学	九州大学 宮崎大学 福岡県立大学 九州産業大学 筑紫女学園短期大学
平成7年度 (46)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	鹿屋体育大学 北九州大学 第一薬科大学	琉球大学 長崎県立大学 南九州大学	九州大学 九州工業大学 九州歯科大学 久留米大学 筑紫女学園短期大学
平成8年度 (47)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州東海大学	佐賀大学 九州歯科大学 熊本学園大学	九州大学 大分大学 北九州大学 九州共立大学 西南女学院短期大学
平成9年度 (48)	九州大学	福岡教育大学	国 公 私	九州工業大学 熊本県立大学 九州女子大学	宮崎大学 鹿児島県立短期大学 久留米工業大学	九州大学 佐賀大学 九州歯科大学 福岡大学 西南女学院短期大学

年次 (回次)	幹事館	副幹事館		監査館	表彰委員館	編集委員館
平成10年度 (49)	九州大学	国 公 私 短	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州国際大学 中九州短期大学	中村学園大学	福岡教育大学 長崎大学 福岡県立大学 長崎県立女子短期大学 西日本工業大学 筑紫女学園大学	九州大学 佐賀医科大学 福岡女子大学 第一薬科大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成11年度 (50)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島経済大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 別府大学 中九州短期大学	九州大学 佐賀大学 長崎大学 福岡県立大学 熊本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成12年度 (51)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島国際大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡女子大学	大分大学 宮崎県立大学 宮崎国際大学 中九州短期大学	九州大学 沖縄国際大学 宮崎医科大学 北九州大学 西南女学院大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成13年度 (52)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡教育大学	宮崎医科大学 北九州市立大学 筑紫女学園大学 沖縄キリスト教短期大学	鹿児島大学 九州歯科大学 西九州大学 活水女子短期大学 九州大学 九州女子大学
平成14年度 (53)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡工業大学	大分医科大学 熊本県立大学 九州情報大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鹿児島純心女子大学 活水女子短期大学 九州大学 大分大学
平成15年度 (54)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	鹿屋体育大学 宮崎県立看護大学 九州ルーテル学院大学 筑紫女学園大学・短期大学	九州工業大学 福岡女子大学 九州看護福祉大学 西南女学院大学・短期大学 九州大学 宮崎大学
平成16年度 (55)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	西南学院大学	熊本大学 福岡女子大学 志學館大学 東九州女子短期大学	福岡教育大学 九州歯科大学 南九州大学・南九州短期大学 西南女学院大学・短期大学
平成17年度 (56)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	九州産業大学	琉球大学 沖縄県立看護大学 西南女学院大学 鹿児島純心女子短期大学	熊本大学 北九州市立大学 西日本工業大学 鹿児島純心女子短期大学
平成18年度 (57)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	佐賀大学 鹿児島県立短期大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	鹿屋体育大学 福岡県立大学 筑紫女学園大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成19年度 (58)	九州大学	国 公 私 短	熊本大学 宮崎県立看護大学 福岡大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	中村学園大学	九州工業大学 九州歯科大学 久留米工業大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 九州女子大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

年次 (回次)	幹事館	副幹事館	監査館	表彰委員館	編集委員館
平成20年度 (59)	九州大学	国 熊本大学 宮崎県立看護大学 福岡大学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡教育大学	宮崎大学 大分県立看護科学大学 別府大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	長崎大学 九州歯科大学 鹿児島国際大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成21年度 (60)	九州大学	国 大分大学 福岡県立大学 九州産業大学 九州大谷短期大学 私短	福岡女子大学	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学 鹿児島女子短期大学	鹿児島大学 北九州市立大学 西南女学院大学 中九州短期大学
平成22年度 (61)	九州大学	国 大分大学 福岡県立大学 九州産業大学 九州大谷短期大学 私短	福岡大学	長崎大学 福岡女子大学 鹿児島純心女子大学 鹿児島女子短期大学	九州工業大学 <small>北九州学術研究都市学術情報センター</small> 活水女子大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成23年度 (62)	九州大学	国 宮崎大学 長崎県立大学 熊本学園大学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡工業大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 福岡女学院大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	佐賀大学 福岡県立大学 九州国際大学 九州大谷短期大学
平成24年度 (63)	九州大学	国 宮崎大学 長崎県立大学 熊本学園大学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	筑紫女学園大学・短期大学	大分大学 沖縄県立看護大学 九州東海大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡女子大学 沖縄国際大学 鹿児島女子短期大学
平成25年度 (64)	九州大学	国 鹿児島大学 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学 私短	西南学院大学	鹿屋体育大学 北九州市立大学 九州共立大学 鹿児島純心女子短期大学	宮崎大学 九州歯科大学 聖マリア学院大学 鹿児島純心女子短期大学
平成26年度 (65)	九州大学	国 鹿児島大学 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学 私短	九州産業大学	熊本大学 熊本県立大学 九州保健福祉大学 東九州短期大学	大分大学 北九州市立大学 西九州大学 東九州短期大学
平成27年度 (66)	九州大学	国 鹿屋体育大学 九州歯科大学 沖縄国際大学 鹿児島純心女子 短期大学 私短	中村学園大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 九州情報大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	熊本大学 北九州学術研究都 市学術情報センタ ー 西日本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成28年度 (67)	九州大学	国 鹿屋体育大学 九州歯科大学 沖縄国際大学 鹿児島純心女子 短期大学 私短	福岡教育大学	佐賀大学 北九州学術研究都 市学術情報センタ ー 長崎総合科学大学 鹿児島女子短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 沖縄キリスト教 学院大学 鹿児島女子短期大学
平成29年度 (68)	九州大学	国 琉球大学 大分県立看護科学大学 九州国際大学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡女子大学	九州工業大学 長崎県立大学 西日本工業大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	鹿屋体育大学 福岡県立大学 九州情報大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成30年度 (69)	九州大学	国 琉球大学 大分県立看護科学大学 九州国際大学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡大学	宮崎大学 宮崎県立看護大学 沖縄科学技術大学院大学 鹿児島純心女子短期大学	長崎大学 九州歯科大学 熊本保健科学大学 鹿児島純心女子短期大学
平成31年度 (70)	九州大学	国 私短			

九州地区大学図書館協議会総会当番館一覧

回次	年度	県別	大 学
1	25	福岡	九州大学
2	26	熊本	熊本大学
3	27	長崎	長崎大学
4	28	佐賀	佐賀大学
5	29	鹿児島	鹿児島大学
6	30	宮崎	宮崎大学
7	31	大分	大分大学
8	32	福岡	西南学院大学
9	33	福岡	九州大学
10	34	熊本	熊本大学
11	35	福岡	九州工業大学
12	36	長崎	長崎大学
13	37	福岡	福岡大学
14	38	佐賀	佐賀大学
15	39	福岡	福岡教育大学
16	40	宮崎	宮崎大学
17	41	福岡	八幡大学
18	42	鹿児島	鹿児島大学
19	43	福岡	九州大学
20	44	熊本	熊本商科大学
21	45	福岡	久留米大学
22	46	大分	大分大学
23	47	福岡	北九州大学
24	48	長崎	長崎大学
25	49	福岡	九州産業大学
26	50	佐賀	佐賀大学
		〃	佐賀龍谷短期大学
27	51	沖縄	琉球大学
28	52	福岡	九州大学
29	53	大分	大分大学
30	54	宮崎	宮崎大学
31	55	福岡	九州歯科大学
		〃	福岡女子大学
		〃	福岡県社会保険短期大学
32	56	熊本	熊本女子大学
33	57	鹿児島	鹿児島大学
		〃	鹿児島県立短期大学
		〃	鹿児島経済大学

回次	年度	県別	大 学
34	58	福岡	西日本工業大学
35	59	長崎	長崎大学
36	60	宮崎	宮崎医科大学
		大分	大分県立芸術短期大学
		宮崎	南九州大学
		長崎	純心女子短期大学
37	61	福岡	九州芸術工科大学
38	62	佐賀	佐賀医科大学
39	63	沖縄	琉球大学
40	平成元	福岡	北九州大学
41	2	大分	大分医科大学
42	3	鹿児島	鹿屋体育大学
43	4	福岡	西南学院大学
44	5	熊本	九州東海大学
45	6	宮崎	宮崎産業経営大学
46	7	福岡	九州工業大学
47	8	長崎	長崎大学
48	9	鹿児島	鹿児島経済大学
49	10	福岡	福岡女子大学
50	11	佐賀	佐賀大学
51	12	沖縄	沖縄国際大学
52	13	福岡	九州女子大学
53	14	大分	大分大学
54	15	宮崎	宮崎大学
55	16	福岡	福岡教育大学
56	17	熊本	熊本大学
57	18	鹿児島	鹿屋体育大学
58	19	福岡	九州大学
59	20	長崎	長崎大学
60	21	沖縄	琉球大学
61	22	福岡	福岡県立大学
		〃	九州歯科大学
		〃	北九州学術研究都市(学術情報センター)
62	23	佐賀	佐賀大学
63	24	鹿児島	鹿児島大学
64	25	福岡	福岡教育大学
65	26	大分	大分大学学術情報拠点
66	27	宮崎	宮崎大学

回次	年度	県別	大 学
67	28	福 岡	九 州 大 学
68	29	長 崎	長 崎 大 学
69	30	鹿 児 島	鹿 屋 体 育 大 学
70	31	福 岡	九 州 工 業 大 学
71	2020		

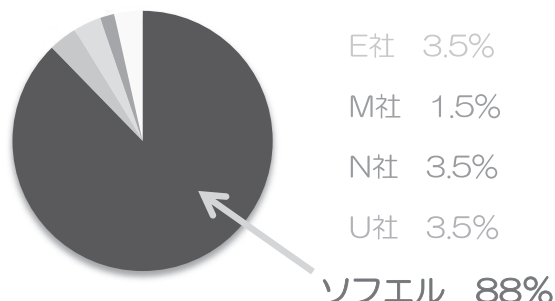
ソフエルは 図書館 UHF帯ICタグ関連機器の トップシェアメーカーです。

2009年に日本で初めてUHF帯ICタグ及びIC機器を
納入して以降、これまでのICタグよりもUHF帯ICタ
グの性能が図書館での実運用に適していると認知され
てきました。

何よりも弊社の豊富な経験・知識に基づいた技術力
や販売サポート体制はお客様よりご評価いただいております。

今後も国内トップシェアメーカーとして、利用しや
すい快適な図書館運営へ貢献してまいります。

図書館システムにおける
UHF帯ICタグ関連機器シェア



納入実績一覧

(一部。順不同)

◆ 公共図書館

高知県立・高知市立市民図書館
東京都千代田区立千代田図書館
新潟県長岡市立図書館
大阪府茨木市立図書館
大阪府吹田市立図書館
茨城県北茨城市立図書館
栃木県小山市立図書館
兵庫県明石市立図書館
群馬県太田市美術館・図書館
京都府立京都学・歴彩館
宮崎県都城市立図書館
東京都世田谷区立図書館（稼働準備中）

◆ 国公立大学図書館

東京大学 ラーニングcommons
新潟大学
横浜国立大学
一橋大学 国際・公共政策大学院
総合研究大学院大学
神戸市看護大学
三重県立看護大学
高知工科大学
高知県立大学
奈良県立医科大学
京都府立大学
京都府立医科大学



◆ 私立大学図書館

立命館大学 平井嘉一郎記念図書館
立命館大学 大阪いばらきキャンパス
近畿大学 アカデミックシアター
京都女子大学
大阪工業大学 梅田キャンパス
創価大学
帝京大学 八王子本館・医学総合・福岡
東京理科大学 葛飾キャンパス
東京医科大学
東京経済大学
武蔵野音楽大学
津田塾大学
多摩美術大学
国際医療福祉大学 成田キャンパス
新潟青陵大学
佐久大学
明星大学

● 図書館用品全般

販売店
L・キスト(エルキスト)
代表者 井上 國光
〒814-0162
福岡市早良区星の原団地 20-403
TEL 092-863-0128 FAX 092-863-0127
E-MAIL l.kist@indigo.plala.or.jp
<http://www.l-kist.com/>

アイデアを生み出す多彩なしつらえで
アクティブラーニングを加速する。

ITOKI

明日の「働く」を、デザインする。
We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.



見渡しやすい低めのテーブル高さ

天板上の情報が俯瞰しやすい620mmのテーブル高さ。低めのテーブルを囲んでの作業は、チームの一体感につながります。



ホワイトボード天板

座ったまま書けるため、アイデアの共有がしやすく、グループ全員で活発なアイデア出しが行えます。



しっかりした個人作業天板

個人作業はチェア为天板で行います。A3サイズで天板強度があり、荷物が落ちにくいエッジ形状で安心して作業に取り組みます。

SCRUM

スクラムシリーズ

「アクティブラーニング」を実現する教育施設用家具シリーズ。
グループワークには一体感を演出し、レクチャー・演習・プレゼンなどの
講義スタイルにもフレキシブルに、スピーディーに対応します。



チェア 天板付タイプ



チェア 天板なしタイプ

株式会社イトーキ

福岡支店 福岡市博多区上呉服町10-10 〒812-0036 Telephone 092 281-4061 お客様相談センター ☎ 0120-164177 URL <https://www.itoki.jp/>

NALIS

NTT DATA
Global IT Innovator

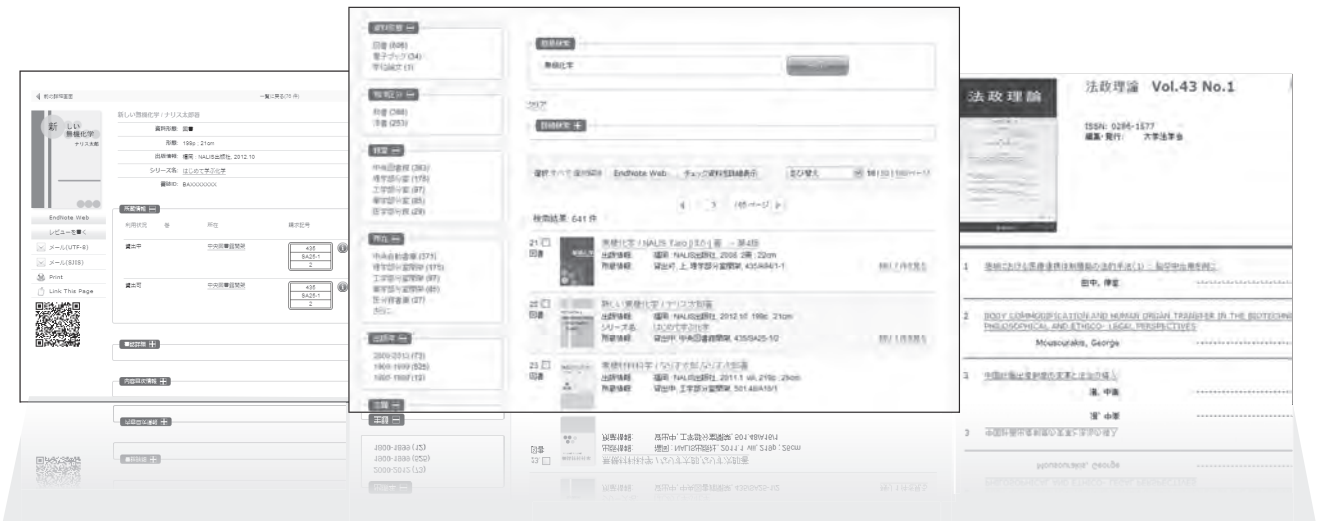
図書館の全業務をカバーする

「図書館情報システム」

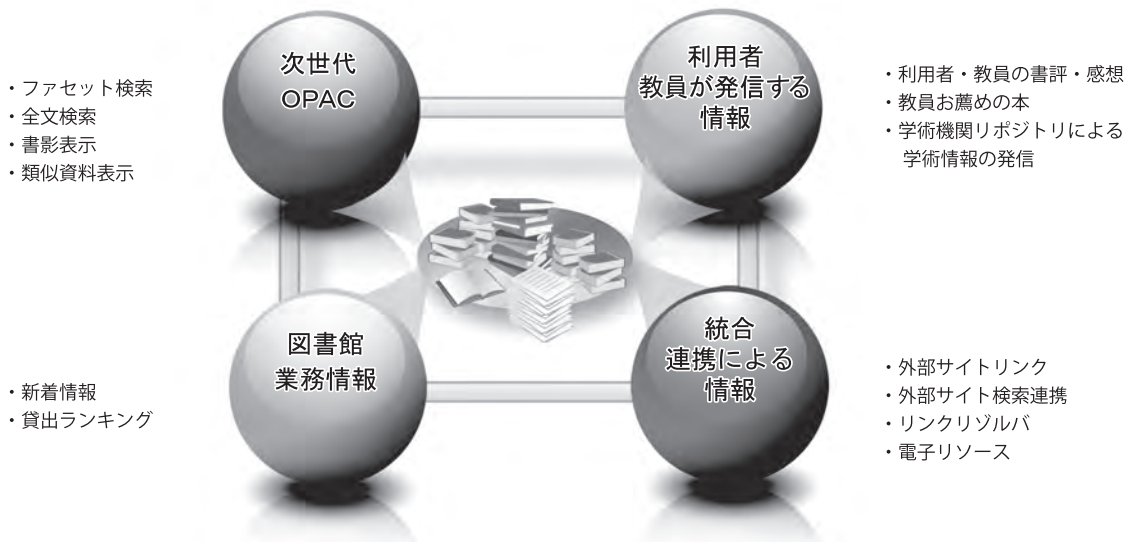
規模や運用に応じて、

柔軟かつ拡張性に優れた構成が可能です。

利用者の資料入手を強力にサポート



NALISは『次世代OPAC』、『利用者・教員が発信する情報』、『図書館業務情報』、『統合・連携による情報』の4つを柱として利用者を強力にサポートします。



お問い合わせ・ご相談は下記までどうぞ

株式会社 NTT データ九州

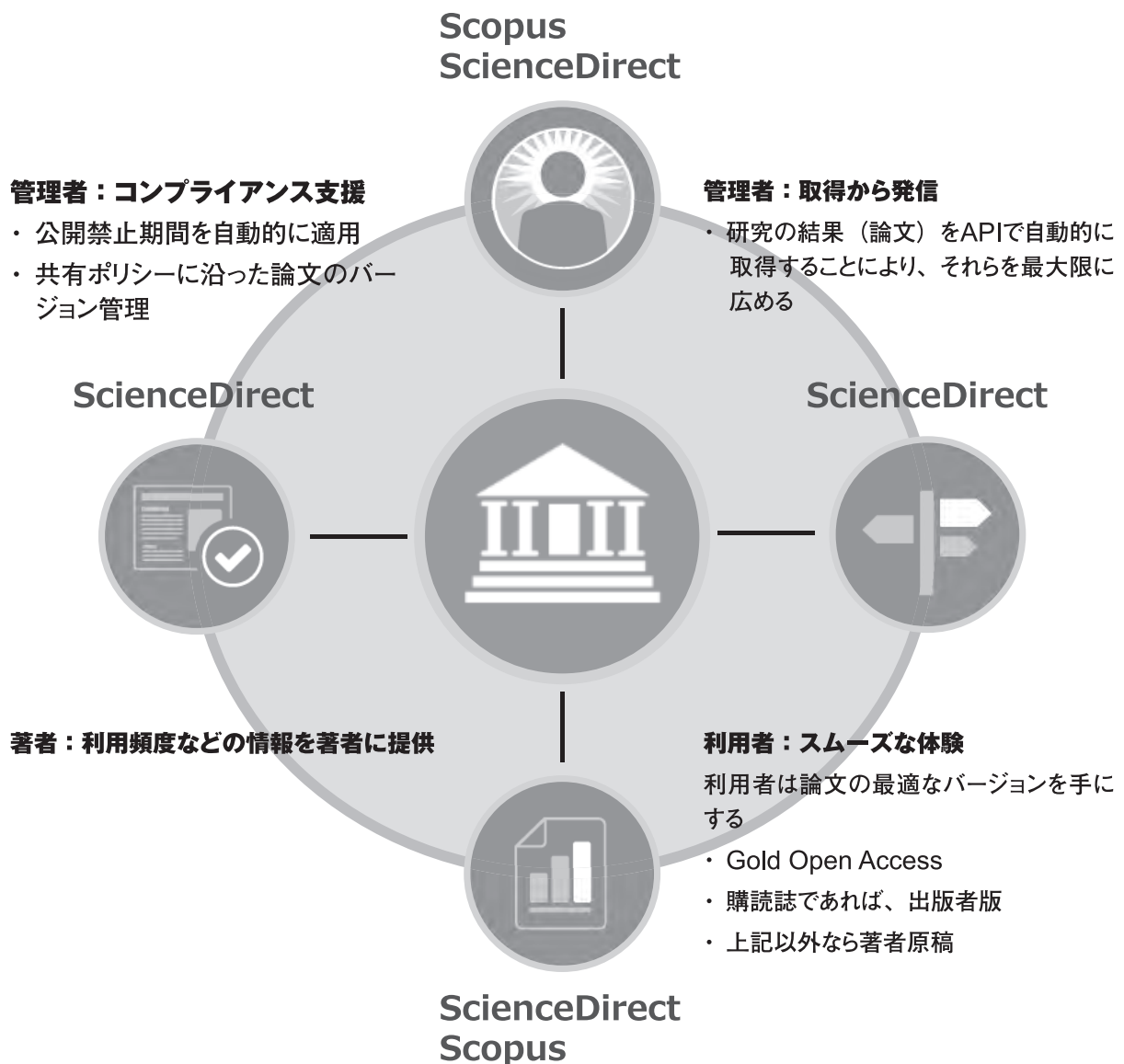
法人・ソフトウェア事業部 ソフトウェアビジネス部 文教営業担当

Tel : 092-475-5145 Fax: 092-475-5152

HP: www.nttdata-kyushu.co.jp

Elsevier API サービス

エルゼビアのAPIサービスが、機関レポジトリの成功に貢献します



『機関レポジトリによって、研究がより発見されやすくなる』というゴールを共有しています

共有に関するプロセス：



設定項目

デフォルト設定	論文のバージョン
アクセス情報アイコンによって、利用者に最適な論文のバージョンを示します	a) Open Access論文 b) 機関の購読誌であれば、出版者版の論文 c) 上記以外であれば、著者原稿
オプション設定	利点
1. ScienceDirect APIsやScopus APIsによる機関著者の論文情報	a) あらゆる機関レポジトリ向けに、ScienceDirect APIsを無料で公開しています b) Scopus APIsは、Scopusを契約している機関向けに無料で提供しています。Scopusはエルゼビアの出版物だけではなく、5000社を超える出版社から発行されている厳選されたジャーナル（およそ22千タイトル）を網羅しています
2. 機関レポジトリに論文を埋め込み、また出版社版へのリンクを提供	a) 論文を機関レポジトリで表示させるので、利用者が機関レポジトリに滞留します b) ScienceDirectへリンクすることで、利用者はより高度な機能を持つScienceDirectで論文検索作業を続けられます
3. 公開禁止期間を自動的に設定	著者原稿が公開されると、すぐに利用者はアクセスできるようになります

事例 QSpace : カタール大学の機関レポジトリ

ScienceDirect API サービスが、メタデータ、抄録、そして最適な論文のバージョンへのアクセスを提供します

アクセス情報アイコンによって、機関レポジトリに埋め込まれた論文情報を提供

機関レポジトリに掲載された論文の情報

The screenshot shows the QSpace Institutional Repository interface. On the left, a list of papers is displayed with an 'Access Information' icon. A callout points to this icon, stating it provides information for papers embedded in the repository. On the right, the details of a specific paper are shown, including the title 'Comparison of SimTraffic and VISSIM Microscopic Traffic Simulation Tools in Modeling Roundabouts', an abstract, and a 'Full Text' link. A callout points to the 'Full Text' link, stating that for subscribed institutions, the publisher's version is available for download.

購読機関は、出版社版を機関レポジトリからそのままダウンロード可能



エルゼビア・ジャパン株式会社

© 2018 Elsevier B.V. all rights reserved

リサーチソリューションズ
 106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布1丁目ビル4階
 TEL:03-5561-5034 jp.pr@elsevier.com
<http://www.elsevier.com/jp>

2018年12月

空間をデザインする

slim Zシリーズ 「AKZ」



開架・閉架設備



安心と先進で社会文化に貢献する

 **金剛株式会社**

www.kongo-corp.co.jp

熊本本社/熊本市西区上熊本3丁目8-1
福岡支店/福岡市東区名島3丁目2-10

TEL (096)355-1111(大代)
TEL (092)681-6286

支店・営業所/ 仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・広島・岡山・高松・
福岡・北九州・大分・長崎・佐賀・熊本・八代・天草・
宮崎・鹿児島・沖縄・台湾

ISO 9001 ISO 14001

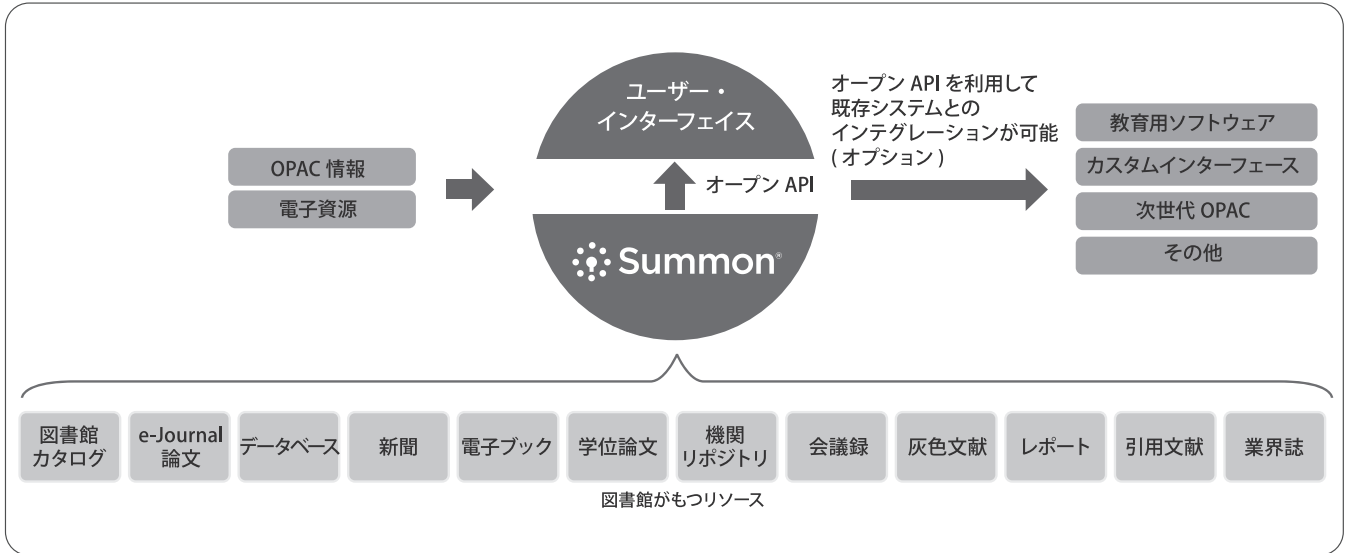
JQA 2873 JQA-EM1726
熊本工場 本社棟及び
製造本部



これまで見つけることが困難だった資料でも たった1つの検索窓から瞬時に見つけられます！

Summon は統合検索や次世代 OPAC を越える全く新しい検索サービスです。シンプルなインターフェイスから図書館独自の広範囲で信頼性の高い情報へすばやくアクセスすることができます。

図書館の所蔵資料や契約データベース・電子ジャーナル、機関リポジトリ、オープンアクセス誌といった図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせる手法でこれまでにない検索スピードを実現しました。



POINT 1

すべてのリソースを一度に検索

すべてのリソースをたったひとつの検索窓から見つけることができます。現在のインターネットユーザーのニーズを満たす新しい学術情報の検索スタイルを提供します。

POINT 2

信頼のおけるコンテンツだけを検索

検索対象はすべて図書館のコンテンツです。信頼性が高く、しかも入手可能なコンテンツにのみアクセスすることができます。

POINT 3

瞬時に検索結果を表示

図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせるので、Google などの検索スピードを実現します。



図書館システムと連携して 所蔵・貸出情報を リアルタイムで表示

冊子の検索結果には現在の貸出し状況や保管場所が表示されます。検索結果をクリックすると図書館 OPAC のライブリンクになっています。

availability : 貸出中, 中央図書館所蔵

SaaS 型サービスなので 導入・メンテナンスの 手間がかかりません

Software as a Service(SaaS) で提供されるため、サーバーの設置やアップデート、メンテナンスといった作業に人員を割く必要はありません。常に最新で最適な状態でサービスを利用することが出来ます。

目的の資料への確にナビゲートします

ファセット機能によりフォーマット、主題、出版年などによる絞り込み検索を効率的に実行できます。また、360Link などのリンクリゾルバと連携して該当の資料に確実にたどり着くことができます。

360 360 LINK

Content Solutions Company **SUNMEDIA 株式会社サンメディア e-Port カンパニー** e-mail : e-port@sunmedia.co.jp

本社 〒164-0012 東京都中野区本町 3-10-3 PORT ビル
Tel : 03-3299-1575 Fax : 03-3374-1410

大阪オフィス 〒550-0003 大阪市西区京町堀 1-3-3 肥後橋パークビル 4F
Tel : 06-6444-7720 Fax : 06-6444-7730

欲しい文献をPDFで すみやかに入手できます！

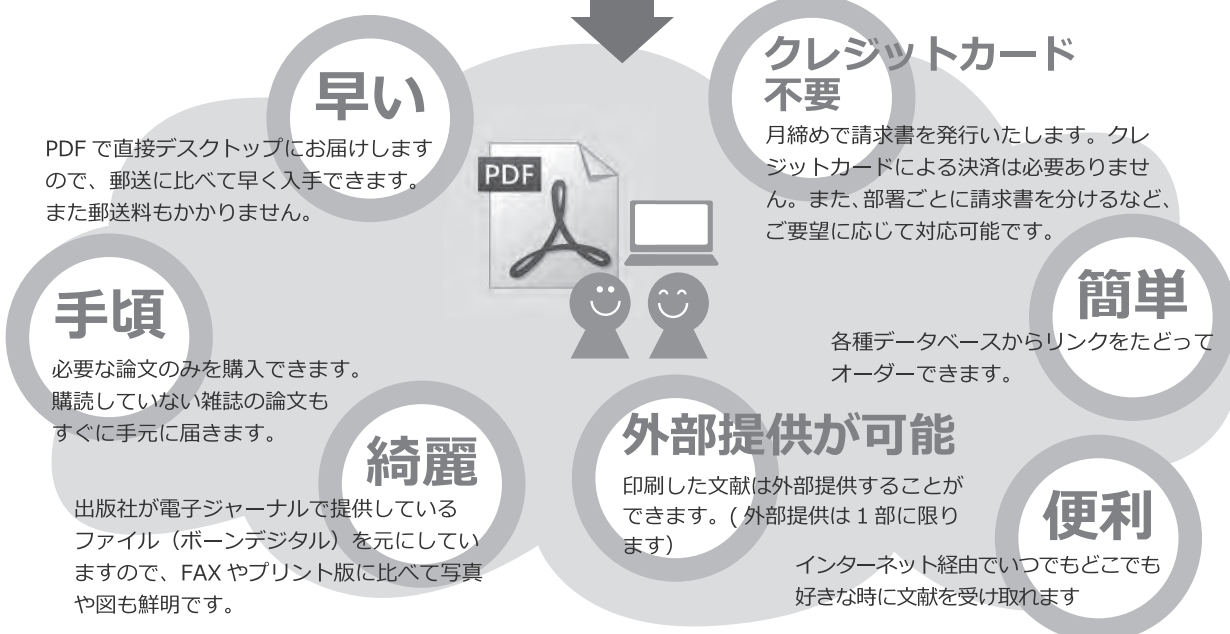
Article Direct は、出版社から許諾を得た論文を PDF ファイルでデスクトップに直接お届けするサービスです。郵送に比べてお届けまでの時間が短縮されるので急に文献が必要になった時などに大変便利にご利用いただけます。

たとえばこんなことはありませんか？

- ▶ 急ぎで必要な文献だから、郵送されるのを待っている時間が無い
- ▶ 機関で購読していない雑誌を 1 論文単位で入手したい
- ▶ クレジット決済ではなく請求書による支払いで購入したい。請求書は部署ごとに分けたい
- ▶ FAX で受け取ると、細かい文字や写真が見づらい…
- ▶ 届いた文献を取りに行くのが面倒…



あたらしい論文入手ソリューション「Article Direct」なら



対象雑誌は 約 3 万誌以上！

Bentham Science、BMJ、Elsevier、KARGER、Royal Society、SAGE Publications、Springer Nature、Taylor & Francis、Thieme、Wiley などの海外学術出版者が発行する学術誌や、Ingenta Connect に収録されている学術誌、PierOnline に収録されている国内学術誌など約 3 万誌以上を対象としています。

2019 年の学術情報ソリューションセミナーの日程が決まりました。スケジュールに入れておいて下さい！

東京会場

2019 年 6 月 18 日 (火)
日本橋三井ホール

大阪会場

2019 年 6 月 28 日 (金)
阪急うめだホール

※その他の会場につきましては、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします
セミナーに関するご要望・お問い合わせはこちらまで ▶▶▶ event@sunmedia.co.jp



図書館製本

創業以来培ってきた豊富なノウハウと高い技術力で、さまざまな製本に小ロットから大量発注まで柔軟に対応します。

- 雑誌合冊製本
- 新聞製本
- 論文製本
- 書類製本
- 簡易製本
- カルテ製本
- リーフレット製本
- 図書修理製本・再製本
- 和綴じ



資料保存

さまざまな資料の長期保存と活用のため、劣化・保存状況、目的やご要望に合わせて、適切な保存処置や環境整備をご提案します。

- 洋装本の修理・修復
- 裏打ち・すきはめ (リーフキャスト)
- 軸装・額装の再仕立て
- 脱酸性化処理
- エンカプスレーション
- 帙・四方帙の作製
- 中性紙保存箱の作製
- 環境調査
- 燻蒸・書籍クリーニング



デジタル・ソリューション

電子化・電子書籍の制作から、Web 公開用のシステム・ホームページの構築まで、資料の有効活用をサポートします。

- 画像データ化
- 大判スキャニング
- フィルムスキャニング
- 既存データの交換
- テキストデータ入力
- 閲覧・公開システム・ホームページの構築
- 機関リポジトリ構築支援
- 電子書籍の制作



図書館運営サービス

部分的な業務から図書館全体の管理・運営まで、図書館のパートナーとして業務の効率化、サービスの向上に取り組みます。

- 図書・雑誌の受入・整理
- 製本準備・受入
- 装備
- 未整理資料の一括整理
- 閲覧・カウンター業務
- 蔵書点検
- 書籍移動・配架シミュレーション・書籍保管
- 図書館運営、指定管理



システム&サプライ

図書館の運用に欠かせないシステムやアイテムを数多く取り揃えています。

- 図書館システム
- IC システム・IC タグ
- 自動貸出装置、無断持出し防止装置
- 磁気テープ
- 書架、整理・収納用品
- 展示用品、保存用品
- 図書館空間デザイン
- ラベル・カード作成
- オンデマンド印刷



カメレオンコード

低コストで一括認識ができるカラー・コード (カメレオンコード) を活用した、効率的な蔵書管理ソリューションをご提案しています。



カメレオンコード

- N-CLASS 蔵書点検・所在管理システム
- 各種図書館システム連携

<カメレオンコード>は株式会社シフトの登録商標です。



ナカバヤシ株式会社 図書館ソリューション営業部

東京本社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1 TEL:03-3558-1251 FAX:03-3558-1260
 大阪支社 堺オフィス 〒599-8116 大阪府堺市東区野尻町221番地3 TEL:072-286-8020 FAX:072-286-8021
 名古屋支店 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2丁目2-6 TEL:052-661-3771 FAX:052-661-3775
 福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11 TEL:092-641-3661 FAX:092-641-3699

札幌営業所 仙台営業所 横浜営業所 広島営業所 高松出張所

HP : <https://www.nakabayashi.co.jp/> MAIL : toshokan@nakabayashi.co.jp



Maruzen eBook Library

学術情報に特化した電子書籍を提供する
丸善雄松堂オリジナル・プラットフォーム

<https://elib.maruzen.co.jp/>

- 学術・研究機関のための学術情報に特化した電子書籍をご提供
- 研究・学習でのご利用に便利な検索・閲覧機能が充実

サービス内容

- ・ 同時アクセス数による価格設定
- ・ 初期導入費や維持費は不要
- ・ IPアドレスによる認証
- ・ 学認・ディスカバリーサービスとの連携
- ・ リモート・アクセス機能
- ・ 便利な検索機能
- ・ MARC を無償でご提供
- ・ 印刷・ダウンロードも可能



サクサク
閲覧できる

学術情報に
特化した
eBook

ご提供コンテンツ

約 **60,000** タイトル!

(2018年12月現在)

リクエスト機能!

動画・読上!

好評! 試読サービス

スマホ対応!

サブスクリプション
パッケージ!

丸善創業 150 周年記念

学鑑
1897 - 2018

丸善創業者
早矢仕右衛門(1837-1901)

収録資料: 全1274冊 第1巻(創刊号: 明治30年3月)~第115巻(平成30年12月)
※大正12年9月~13年5月は関東大震災のため、昭和19年1月~25年12月は戦争のため休刊。
編集・発行: 丸善雄松堂株式会社/丸善出版株式会社

150周年記念特価 同時1アクセス ¥500,000(本体) 同時3アクセス ¥750,000(本体)
※期間限定特別価格(2019年1月~2020年3月末予定)につき、以降は同時1アクセス ¥600,000(本体) 同時3アクセス ¥900,000(本体)

発行: 2019年1月



学術機関向けの和書 eBook

参考書 英語多読 学生用図書
レファレンス 就活 専門書

丸善のライブラリアン向け情報サイト

Library Navigator

最新情報をご案内中!
QRコードからご覧頂けます



■お問い合わせ先

M MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社【福岡支店】
〒815-0031 福岡県福岡市南区清水2-15-11
<http://yushodo.maruzen.co.jp/>



電動モービルラック [ソニックセイバー]

OKAMURA

Sonicsaver



優れた収納効率、地震対策に加え、
使いやすさと、安全機能を標準装備した電動移動棚です。

<http://www.okamura.co.jp/> お問合せ・ご相談は【お客様相談室】へ ☎ 0120-81-9060 受付時間 9:00~17:20(土・日・祝日を除く) 株式会社オカムラ



紀伊國屋書店 学術電子図書館

KinoDen
Kinokuniya Digital Library

株式会社紀伊國屋書店 九州営業部

福岡営業所 TEL 092-437-5353 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル6F
熊本営業所 TEL 096-322-5666 〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-1 太陽生命熊本第2ビル2F
鹿児島営業所 TEL 099-223-4519 〒892-0847 鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第2ビル8F
沖縄営業所 TEL 098-887-3678 〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-99-1 まるしんビル
【本社】電子書籍営業部 TEL 03-5719-2501 e-mail ict_ebook@kinokuniya.co.jp

KinoDenアプリ bREADER Cloud

2019年初頭 リリース予定

図書館の電子書籍の利活用に新たな可能性を！



bREADER Cloud

KinoDen 画面・アプリイメージ

- ✓iOS, Androidデバイス向け
- ✓マイ本棚 (クラウド同期)
- ✓本棚内横断検索
- ✓1冊全部ダウンロード
- ✓しおり
- ✓マーカー
- ✓テキストメモ
- ✓PDFファイル等のアップロード



KinoDen (キノデン) は、紀伊國屋書店がご提供する学術和書電子図書館サービスです。

ジュンク堂書店

淳久堂書店

お店で選書ツアーができます

各階専門書・地下一階に1万5000冊の洋書売場も充実！
B1～4階フロア・140万冊の店舗で選書が可能です(要予約)

丸善ジュンク堂書店 外商部 福岡営業所

お問い合わせ先 E-mail fk-gai@junkudo.co.jp
福岡市中央区天神 1-10-13 天神 MMT ビル
電話・092-738-3405 FAX・092-717-7321

広げます あなたの未来

政府刊行物

探したい本はここで見つかる。
政府刊行物のホームページ
<http://www.gov-book.or.jp/>

政府刊行物サービス・ステーション

天神:福岡市中央区天神 4-5-10(チサン天神 1F) 市役所:福岡市中央区天神 1-8-1(福岡市役所 B1F)
TEL(092)721-4846 TEL(092)722-4861
県庁:福岡市博多区東公園 7-7(福岡県庁 B1F)
TEL(092)641-7838

政府刊行物普及株式会社・福岡県官報販売所
福岡市中央区天神 4-5-17
TEL(092)761-1151 FAX(092)751-0385



STACK RUNNER 電動スタックランナー フォルテ

引き戸を
開ける感覚で
軽々と棚が
移動します。

通路内センサーを標準装備し安全性を兼ね揃え開架でも利用可能な高速移動棚

よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

日本ファイリング株式会社

本社 / 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2
支店 / 大阪・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・広島・福岡

ISO14001
ISO9001
認証取得企業

お申込み・お問い合わせ

<https://www.nipponfiling.co.jp>

importer of academic publications & software

福岡海外株式会社

【会社概要 Company Profile】

学術書籍・ジャーナルバックナンバー・電子ジャーナル・電子書籍・データベース販売

Import and sales of academic foreign books, journals (including electronic journals and back numbers), CD-ROMs and data bases

主な仕入先の出版社 / Main Publishers Distributed

Springer / Elsevier / John Wiley & Sons / Cambridge University Press / Oxford

University Press / Taylor & Francis and more..

〒818-0001 福岡市中央区天神 4 丁目 1 番 18 号

電話 092-741-2685 / FAX 092-741-8418

E-mail: fkaigai@lime.ocn.ne.jp

<http://fukuoka-kaigai.jimdo.com/>

おかげさまで、ミドリ印刷は 創業51周年を迎えました

弊社では創業時より、企業理念に基づいて
CSR・環境配慮に取り組んでいます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

ミドリ印刷は、SDGs
(持続可能な開発目標)
に取り組んでいます。

新素材

「LIMEX(ライメックス)シート」
製品を販売しています!



LIMEX(ライメックス)とは、石灰石を主原料とする環境に配慮した新素材です。



株式会社 **ミドリ印刷**

www.midori-p.com

本社 (グループ本部) | 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目17番12号
TEL 092-292-0300 FAX 092-483-9089

営業部 (工場部) | 〒812-0857 福岡市博多区西月隈1丁目2番11号
TEL 092-441-6747 FAX 092-473-1275



MIDORI GROUP

川本印刷株式会社 (株)プリンティング福岡 デジタルプリントピーコム・1/SEJ事業部

九州地区大学図書館協議会誌 第61号

平成31年2月発行

発行 福岡市西区元岡744 九州大学附属図書館内
九州地区大学図書館協議会

T E L (092) 802-2470

F A X (092) 802-2474

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>

